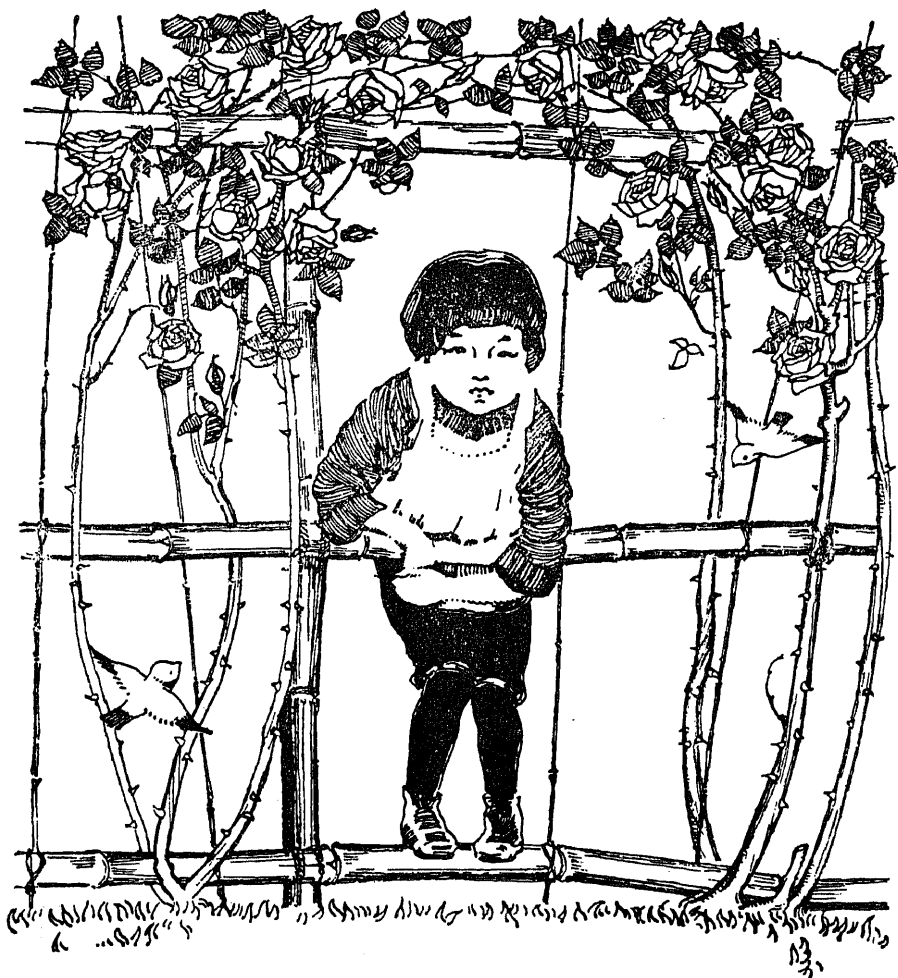


育教の兒幼

號七第號月七卷一十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

奈良女高師教授
附屬幼稚園主事
森川正雄先生著

▲四六判四百頁
▲寫真挿繪入美本
▲定價二圓八十錢
▲送料十八錢

幼稚園の經營

▲實際的保育方法を解説した新書
▲現代幼稚園經營の模範的指導書
▲保姆一人に必ず一冊必須の名著

保育上の實際問題は訓練要目保育要目を初め總てを詳述解決さる。日本の實際的保育方法を究明詳述し更に歐米の新研究を配し完璧とす。幼稚園及託兒所の實際的保育指針として保姆の必携すべき權威書。

【次目容内】

- 第一章 幼稚園經營概論
- 第二章 幼兒の眞生活幼兒の心身に付徹底的に闡明
- 第三章 保育の眞髓保育方法に付實際的に指示さる
- 第四章 家庭との連絡
- 第五章 賡け方要目(訓練要目)と其解説自由主義と明日主義との結合をなし實際方法を示さる。
- 第六章 保育要目と其解説自由主義と明日主義との結合をなし實際方法を示さる。
- 第七章 米國公立幼稚園に於ける最近要目の實例21デンプー市公立幼稚園要目と其の批判
- 第八章 幼稚園の標準施設21デンプー市公立幼稚園要目と其の批判
- 第九章 幼稚園時間配當法小學校時間割に似たることとの是非と其方案。
- 第一〇章 幼稚園に關する諸規定
- 第一一章 保育上の難問題と其解決
- 第一二章 託兒所の經營近時及遠の託兒所經營につき詳述さる。

二十版
奈良女高師教授
附屬幼稚園主事
森川正雄先生著
定價三・〇〇
送料〇・一六

幼稚園の理論及實際

三版
奈良女高師教授
附屬幼稚園主事
森川正雄先生著
定價二・〇〇
送料〇・一六

幼稚園教育法

五版
奈良女高師教授
附屬幼稚園主事
森川正雄先生著
定價二・八〇
送料〇・一六

保育學

五版
大阪家なき幼稚園長
大坂毎日新聞社顧問
橋詰良一先生著
定價二・五〇
送料〇・一六

家なき幼稚園と實際

東京 東大 大阪 東大 東京 東大 大阪 東大

東京 東大 大阪 東大 東京 東大 大阪 東大

日本幼稚園
協會主催
遊 戲 講 習 會

一、期 日 昭和六年七月二十三日より二十六日まで四日間毎日午後一時より同四時まで

二、場 所 東京女子高等師範學校

三、講 師

東京女子高等師範學校助教授 三 浦 ヒ ロ 氏
東京府立第六高等女學校教諭 戸 倉 ハ ル 氏

四、會 費 金 二 圓

五、申 込 手 續

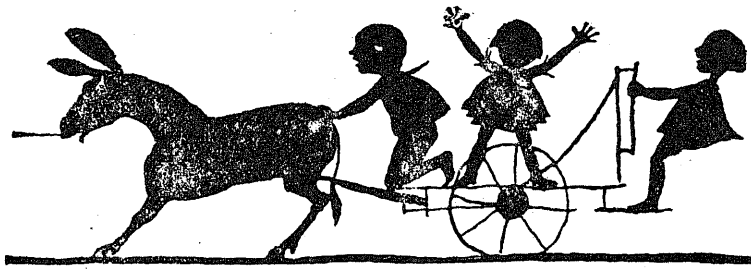
講習希望者は住所、職、氏名を詳記し來る七月十五日までに本會宛御申込下さい。會費は日本幼稚園協會振替口座東京一七二六六番にて御拂込下さい。

六、注 意

(一) 講習者は簡單なる體操服を御用意下さい。
(二) 七月二十二日より同二十七日まで毎日午前中文部省主催の保育講習會が同じく東京女子高等師範學校に於て開催せらるゝ筈であります。本會主催遊戲講習會はその午後に於て同じ場所に開催致すのであります。此二つの講習會は主催が別であります。よつて、文部省の講習の方は夫々府縣に申込まれて其の許可を得られるのであり、本會の講習の方は直接本會宛に申込み願ふのであります。兩者を混同せられぬよう御注意下さい。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日 本 幼 稚 園 協 會



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 吉岡 鄉甫
 主幹 倉橋 惣三
 東京女子高等師範學校長
 東京女子高等師範學校教授
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ騰出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時總會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、幼児教育ニ關スル研究及ビ調査
- 一、幼児教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一名 會務ヲ總理ス
- 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
- 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
- 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應ジテ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席員會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



第 七 號 幼 兒 教 育 の 第 一 十 三 卷

—(次 目)—

口 繪 (ある日、ある日)

冷 (卷頭言)

新教育の主調併せて海外幼稚園參觀感想……………入澤宗壽(二)

幼稚園の設備(一)……………堀七藏(二)

コロンビヤ、テイイチヤリス カレッツデ附屬幼稚園……………宇佐美ケイ(二七)

新設幼稚園の經驗について(承前)……………鎌田しん(四)

幼兒の爲に歌を作りて……………(2)……………葛原しげる(二七)

幼稚園の昔と今……………氏原銀(三)

幼兒の繪について……………中村楠雄(四)

七月の手技材料……………和田實(五)

七月の園藝……………大岩金(六)

雜錄 文部省主催保母の講習・全國佛教保育大會……………(七)

ダルクロワヅ式 韻律教育

リズム 體操
音楽基本練習
ピアノ即奏法
音とリズム
線とリズム
色とリズム

総合リズム教育

講習會

求めずや！道を……ダルクロワヅ式リズム教育の教育的價値は今や全世界の教育者心理學者藝術家の識者に完全に肯定されました。私は八年前之をパリー・リトミック學校に學び歸朝以來様々な實驗を重ねた結果『リトミックより綜合リズム教育へ』の夢を抱いて昨年再渡歐致しました、今此の夢は科學的論據を得て歡喜に燃えつゝ初めて公表するものであります、綜合リズム教育は様々な教育問題に、最少努力で最大効果をもたらす新しい道を開拓するものと信じます。

理論

△リズム教育の理論的基礎

(心理學者と教育者に)

◇リズム學……自然リズムと藝術リズム、古代リズムと近代リズム

◇音樂教育改革論 舞踊改革論

實際

△基礎教育

A 音樂リズム………(時間リズム)

1 リズム體操 (一)ダルクロワヅ式 (二)デュエイン式變形リズム (三)ボーター式表現體操

2 音樂基本練習 (一)ダルクロワヅ式 (二)シエダルジュエ式耳の教育

3 ピアノ即奏法 (一)ダルクロワヅ式 (二)ケーター式表現法 (三)パツカネラ式運指法及讀譜法

△展開

B 造型リズム………(空間リズム)

1 線とリズム テュエイン式幾何學リズムダンス

2 造型リズムの表現形式 (一)小林式 (二)ダルクロワヅ式

3 立體リズム 小林式リズム遊具 (積木)

4 表現運動法 ボーター式 肉體の重サ、關節のバネ、筋肉の彈力等の利用

C 色彩リズム

1 色のオーケストレーション (デュティン式)

(一)濃度の階調 (二)色合の階調 (三)色彩のハーモニー

2 色彩リズムの教授法 (小林式)

△ 綜合

Aは音楽教育として完全無缺である
AとBとの結合は、舞踊、體操、建築、工藝等に
BとCとの結合は、圖畫、手工、舞臺照明等の
諸藝術教育の基礎として感覺及意識を醒し發達せしめるものである

方法創案者紹介

タルクローツ先生
デュティン先生
シワダルジュ先生
ポイデー先生
ハツカネラ先生
ケーデー先生

リトミック
リズムの變形法 幾何學リズムダンス
色のオーケストレーション
耳の教育法
表現體操
ピアノの準備體操 讀譜練習法
新音楽教授法

ジュネーヴ リトミック研究所長
フランス リズム學校長
元パリ高等音楽學校教授
ベルリン ボイデー體操學校長
ミラノ バツカネラピアノ研究所長
シヤトル音楽學校長

講師

フランズリズム學校
バツカネラピアノ教育研究所
ベルリン、ボイデー體操學校
成城學園 玉川學園
石井漢舞踊研究所
東洋英和保姆養成所

修業
小林宗作
奧壽儀

期日
會場
會費
申込
寄宿

八月一日ヨリ七日マデ
成城小學校
金五圓
至急、住所氏名職名記入會費を添へ申込事
最家庭的成城學園寄宿舎を開放す、二食付壹圓
希望者は前以申込事

主催 成城幼稚園内 日本リトミック協會

第三回保育夏期講習會

時期 日間

昭和六年七月二十七日より五日間
 毎日午前八時より午後三時まで
 但、二十七日、三十一日、午後一時より三時まで
 三十日、三十一日、午前八時より午後四時まで

會場 泊費

東京市神田區一ツ橋通町 帝國教育會館
 金參圓也 (但保育大會費を含む)
 一泊二食付金壹圓五拾錢にて帝國教育會付設寄宿舎を使用 (希望者は申込書に記入のこと)

金壹圓也

申込所

東京市淺草區松清町、徳風幼稚園内 本會事務所宛 (電話淺草(8)六〇一八番)

申込員

七月二十日迄 (但期間中も定員超過の場合はお断り致すことあります)

見込學

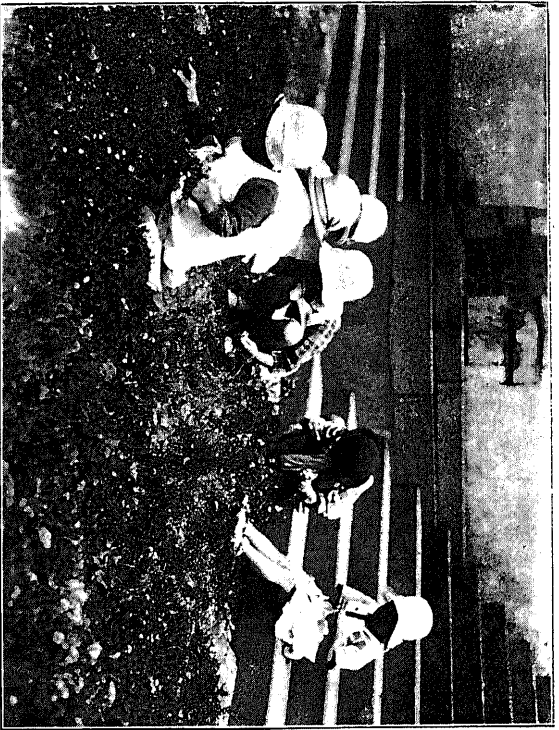
新宿御苑拜觀其他保育事業施設

講師及科目

保育者の修養
 農繁期託兒所の施設と實際
 唱歌の撰み方導き方
 遊戲の指導法と新教材
 手技の實際
 幼兒の描き方、見方、導き方
 佛教保育の實際

上宮教會長 加藤咄堂氏
 東京女高師教授 倉橋惣三氏
 前東京音樂學校 弘田龍太郎氏
 島田舞踊研究所長 島田 豐氏
 東京女子高師附屬 及川ふみ子氏
 幼稚園主任保姆 本田庄太郎氏
 本會副會長 關 寬之氏
 東洋大學教授

主催 佛教保育協會



カローバーの花 盛りなり



.....

.....

君 コロクケ？

.....

.....

僕 うなぎ井にするよ、お

.....

.....

客さんに出すんだから。

.....

.....

それから、火工さんにも上

.....

.....

げよらね

幼 兒 の 教 育

昭 和 六 年 七 月

涼

幼児達の顔、何んといふ涼しさだらう。此の日中を馳け歩き飛び廻り、遊ぶつづけてゐながら、何んといふ心の涼しさだらう。

焦らない心は涼しい。もだへない心は涼しい。鬱積せる愚痴、追ひまわす慾念、密閉せる我執、塗りあげる虚飾。思つただけでも蒸し暑いが、それが幼児にない。

忘れた我、事に即し今に生きる真劍。熱風裡に居て熱を知らぬ。汗にぬれて汗を知らぬ幼児の顔、今鳴いてゐる一匹の蟬をねらつて、萬象無に歸せる幼児の顔。悟道の極ではないが、何といふ心の涼しさだ。

それにしても、なんと暑くるしい我等の顔。

新教育の主調

併せて、海外幼稚園參觀感想

帝國大學助教授
文學博士 入澤宗壽

（五月十六日、本協會の幼稚園講演會における講演の概要筆記であります。文責在筆記者）

本日皆様に一般教育上のことについてお話し申し上げ特に又、幼稚園に關する所感をも申述べる機會を得ましたことを光榮に存じます。私自身は幼兒教育者ではありませんが、幼兒教育につきましてはかなり興味を持つて居ります。此の方面で考へを述べた事もありますが實際に幼兒教育に従事したのではありません。もつとも、家庭では二三人の子供を育てた事はありますが、——私が育てたと申せば家内からも苦情が出るかも知れません。機會があれば私も幼稚園をこさへ度いと思つては居るのですが、なかなか思ふ様にはなりません。新渡部稻造先生がお若い時に「六十歳になつたら幼稚園を作る」と言はれましたが、もう六十歳は遠くに過ぎるようでありますが、なか／＼出來ないやうであります。私も六十歳になればなどは申しませんが、何時か幼稚園をやり度いものだと思つて居ります。「新教育の主調」は

どこにあるか、これは倉橋先生からの出題でありませんが、これに付き私の考へます所を申し述べます。それには新教育の意味の説明を要しますが、短い時間のことでありますから、新教育とは舊教育に對していはれるものとして置きまして、これから特徴を申上げれば舊教育に對して如何なる點を主調とするかが分ります。

自己活動

新教育の主な傾向は何處にあるか。皆さんのよくお聞きになります自己活動が主調なり、と云へば答案は満點と思ひますが、單にこれだけでは意味をなしません。もつと説明がつかなくては判断し難いものであります。自己活動とは、つまり、幼兒・兒童・生徒・學生の主觀の活動するよう教育をし向ける事です。これは昔から多くの教育者に云はれた言葉であります。ルツニー、フレibelは如何に力説したか、は云ふまでもありません。併しながら教鞭をとる際どうも行はれ難いから、今日に至る迄、これが唱へられるのであります。かなり以前より唱へられる言葉なるに關らず今日尙強く言はれますのは、自己活動といふものが實際教育に於いては却々やり悪いからであります。何故にやり難いかは暫く置き、私は、新教育の中心傾向が自己活動にあることを他の主調から申して見たいと思ひます。

作業主義

近年フランスやドイツで作業思想、作業學校、或は勞作主義と言はれるものゝ中心を考へますと、矢

張り自己活動が主となつて居ります。フレールベルも御承知のように作業慾といふことをいはれました。それには矢張り自己活動が入つて居ります。今日アルバイシユートと呼ばれるものは手工的作業が最初の意味で、それを中心として唱へられて來たのですが、これは手工的作業によつて幼児兒童の主觀を活動させることが多いからです。云ふまでもなく、抽象的でなく具體的なのであります。新教育は抽象でなく具體化して來ました。子供が具體性の時代にあるのです。つまり、兒童の自己主觀を中心にしていくために、手工的作業的方面が新教育として力説されて來たのでありまして、その後作業學校も段々變つてまゐりました。今の意味から出發して兒童の精神作業に至つたのであります。自己活動の方を作業學校でも段々力説するようになったのであります。勿論、作業に連關して遊戲の要素が新教育で強く唱へられ、遊戲の方法でやります。學習、教育を遊戲の形に於てやることはフレールベルで考へても分りますように、自己活動のためであります。遊戲は段々目的を意識して行ふ作業になることは勿論であります。

この作業主義傾向にも一つ、プロジェクト法があります。アメリカに力説される新教育で、——これが日本で流行り出した頃、この講堂で國民教育獎奮會主催の講演會で話をした事がありますが、——今日はその頃教育界で問題になつたに比べて忘れられた嫌ひがあります。本國の米國では一年に何十冊の本が出るといふ程でしたが、實際施設は今日が一等隆盛だと昨年みて廻つて思ひました。プロジェクト法

はドイツの作業思想と獨立にアメリカ中心に起つたものでありますけれども兩者の行き方は似て居ります。最初は具體的作業中心、實際的な仕事の計畫でした。机とか椅子とかを作らせる中に教育徹底をさせようとしたものでありましたが、それが又畢竟兒童をして働かせるために行つたものですが、その思想が段々進むと自己活動を力説する派が出来ます。計畫がある所には目的がある、キルバトリックは目的をプロゼクトに於て重く見て居ります。目的を意識してやれば具體的仕事でなくてもよいではないか、と考へますと、最初の意味が抜けて自己活動力説となり、作業學校思想と同じやうになります。

生命 生活

今日、教育上の傾向として又、生命と生活が力説されます。英語のライフ、獨逸語のレーベンの一語に對し日本語では相當する適當の一語がないので言葉から説いたのでは一時間では足りませんからぼんやりと扱ひますが、兒童の生命生活を高調する思想とならば申すまでもなく、兒童中心自己活動を旨とした活動となります。生活即教育といふことはデユキアが唱へましたが、兒童生活が直ちに教育と考へる人がありますけれども私共は、兒童の生活は直ちに教育となるものと然らざるものがあるかと考へます。

體 驗

兒童生活の力説と類似しまして、體驗といふことはドイツや日本では教育者の力説する方面であります、それが新教育の現代に於ける主調であります。これも亦、畢竟私の申す自己活動の力説となりま

す。體驗といふのは自身が體驗するに違ひなく、主観が經驗するのでありますから、つまり主観の力説、即ち自己活動となります。

もう一つ體驗につき考へることは、體驗には智的要素もありますが感情要素が強いものであります。それで次の一項目をなしてもよいと思ふのであります。

感情 藝術的要素

新教育はまた此の要素を力説します。これを力説し、中心にして居りますことは智よりも主観といふこととなります。従來の主知主義に對し感情要素、藝術的要素の力説であります。藝術鑑賞は自己が鑑賞し、主観が活動します。學問よりは一層主観的であります。それ故にこれも亦自己活動に立つものであります。劇化は遊戯にも作業にも關係があります。劇をやらせることは一種のプロゼクトであります。舞臺の役割選定、役割は自己が活動しなければ出来ません。新教育の藝術的方面がやかましく云はれ、各科の藝術的要素が力説されます。これ自己活動の主調であります。

個性的といふこと

個性解放、個性の自由、劃一に對し個性的にと主調することは新教育の特徴であります。これも自己活動力説で單に個性解放でなく、ウオツシユバーン氏の如く診斷法、治療法を考へ、或はダルトンプランのバーカスト女史のいふ個性のスピードに應じて教育するといふも、個性の自由から出發した事で

あります。個性の自由は自己活動と云つて差支へありません。

價值活動

斯うしてみますと單に自己活動許りではないが、中心がそれを追つて居ることは申す迄もありません。所が自己活動の形式に他物が加つた新教育について申したい。私は前から價值活動といふ言葉で新教育の變化を表はして居ります。それは、既に此處に申した生活體驗思想中に含まれるとせられますが、體驗には自己がしみく味ふ、自己が直接觸れる心理的作用と同時に、體驗する内容、體驗するものが大切であります。自己活動の方は體驗作用で、その體驗の内容が考へられなくてはなりません。教育方面から申しますと、價值あるものでなくてはなりません。斯ういふ事が體驗の原理を説く人に考へられて居ります。體驗の内容は智的、藝術的、宗教的であります。文化であります。文化教育學或は教育に於ては文化を考へる傾向になつたのであります。作業主義のケルシエンスタイナーも今日では價值體驗或は文化の方を強く唱へる様になりました。自己活動の力説を止したといふのでありませんが、作業を説く場合にも特に目的を考へ役立つものでなくてはいけないと申します。ガウデイヒは最初は自由精神作業といひましたが、晩年には、作業學校原理を補ふに體驗の原理を以てすべしといつて居ります。體驗の形式のみではなく内容に文化の各方面を考へたのであります。女子教育で有名なガウデイヒシニョレに行くと文化科と名付けては居りませんが、文化科的取扱ひをやつて居ります。合科的に扱ふ

特設の教科であります。特設文化科をつくり文化内容を徹底させるのが原理ですが、國民文化の上からは國民科、郷土文化から郷土科としてもよろしい、國民或は郷土人にとり具體主觀になりますことは自己活動になりませんが文化を傳へる事によつて文化價值を考へるやうになつたのを示します。これは自己活動を捨て、價值體驗になつたのではありません。自己活動の形式方面のみでなく自己活動で何を扱ふかに想ひ到つたのであります。

その意味に於いては手技は手工といふ名でよろしい。外國では幼児でも兒童でも同じく手工といひます。手工といつたにしても工業學校のようなのを爲る必要はありません。そこで幼児の心身に妨げのない限り、自己活動方面で要求された時に價值體驗をさせたいと思ふのであります。併し、價值から考へて來たものではありません。作業の力説をする時は何をやつても内容は構はぬといふ風に、體驗作用の内容を考へる場合に、價值一方になつて片方があるすとなつては昔に後返りすることになります。今日、いはんや幼稚園に於いて、内容を力説することによつて自己活動を忘れては飛んだ事であります。

海外幼稚園參觀感想

價值内容を扱ふ點ではイギリス、フランスの幼稚園が著しい。凡べての幼稚園がさうだといふのではありませんが、二歳兒級にはモンテッソーリ教具を英國風に、或は佛國風にしたものを使つて居ります。三四五歳級になりますと保育室に文字や數字の書いたものを掲げてありますから、計算や文字を

教へることを示して居ります。ところがこゝに注意すべきはドイツ、アメリカの幼稚園ではこれは少いのであります。教育見地から見ると日本やアメリカ、ドイツに比べては小學校以下は進んでは居りません。日本で此處まで進んで來たものを保守的なものは眞似る必要はありませんが、英佛の先生方と雖も子供を害ふ事を考へられるのではない。新教育が幼稚園で保姆によつて研究される結果なのであります。大學では、新教育は研究されなくてもやれますが、幼稚園教育では工夫を加へたものでなければやれません。子供と共に遊ぶだけならば工夫も要らぬが子供が字を習ひたがつたり數を數へたりする相談相手になるには、何の程度にするか、子供の力といふものゝ研究も要ることになります。フランスの如く新教育の少い所でも幼稚園の方には新教育の雑誌があります。私は前から、何をして遊ぶか遊ぶすかの中に文字や數のあそびを入れて然るべきだと考へてゐるのです。ドイツの幼稚園、ブランケンブルグのフレibel幼稚園でもそれをやつて居りました。成るべく小學校でなく幼稚園時代に文學・畫・唱歌は勿論、文字や數の或る程度を覺えることは子供の能力を浪費するものではありません。日本の國語がむつかしいと言ひますが假名くらゐならば覺えます。小學校になつて急に教へ始める時に、子供が注意しないで教育がやりにくいといひます。日本では劃一教育で文字を教へておいてはならぬ、小學校で困るからといはれたものですが、困る筈は何うしてもありません。幼稚園で教へておけば小學校で遊んで居てもよいのですから。家庭や幼稚園で覺えて來たならばそれを基礎にして行くとすればよろしいのです。これは小學校の問題ですが。

海外と申しましても英佛の行き方と、獨米のは違つて居りますが、價値活動方面に眼を轉じて然るべきかと思ひます。勿論子供に對し、むつかしい文字を覚えさせるといふのではなく、子供の方から求めて來る場合にはモンテッソリー女史と雖もその「子供の家」では教へて居ります。或る教育では小學校でも教へないことにして居りますが、何時の間にか教へて居る、父兄の要求かといへば、子供が教はりたがるからだといふ。新教育の實驗學校といふような所で申すと、誤解弊害に導く事になるか知れませんが、私のいふのは新教育の主調として價値體驗が入つて來たといふので自己活動を無みするものではありません。私は新教育の主調を考へるのが主で幼稚園の感想を申述べる考へでもありませんが、一般に申すならば、國家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。ドイツ、アメリカ、フランスにしても小學校の一部としてでなく幼稚園教育に非常な努力を拂ひ教育者も努めて居るように見えます。日本でも同じ事、數年前に比べると幼稚園教育の非常な進歩發達です。併しイギリスに比べますと、あらでは社會國家が、町村全體が、これに力を盡して居ります。幼稚園教育が如何に大切なものかは申す必要はありませんが、日本では大學が上に立つて大切な幼稚園教育が下に置かれて顧みられることが少いやうであります。文部省や東京市が如何に注意を拂つて居るかは私は餘り存じませんが、歐米の幼稚園或は教育狀況をみて來ますと、日本の社會國家が幼稚園教育に注意を拂ふところが少いと思ひます。皆さんに申上げるのは、この連中で幼稚園教育の尊重の動議を提出するか、或は教育畑に居ります我々がこの方面に努力したい、と思ふからであります。大體考へて來ましたことを申上げました。新教育の傾向をいろ／＼申上げて、新教育の特徴若しくは主調をお考へになる御參考としたわけであります。

幼稚園の設備 (一)

附屬小學校主事

堀

七

藏

幼稚園を經營するに當り如何なる設備をなすべきかは誠に重要な問題である。

元來幼稚園は幼児があり、之を保育する保母があれば成立するものである。幼児の集合してゐる公園に於ても保育が出来るし幼児が二三人集つて遊んでゐる街路でも保育が出来るのである。また一定の園舎がなくとも附近の宮とか寺の庭にでも保育が出来る森の中でも野原でも保育が出来る。フレトベル氏が幼児を保育した所は森の中であつて一定の建物もなくして保育を始めた位である。眞に幼児を保育するには廣い自然の中に自然物を相手として遊ぶ幼児を保育するのが幼稚園であらう。園舎がなくば保育が出来ない譯でもない。現に家なし幼稚園を經營して十分保育の目的を達してゐる事實が多い。一臺の乗合自動車をして毎日隨所に幼児を運んでそこで自然の大きな懷の中で自然の保育をなすといつた幼稚園もないことはない。

しかし雨天のときには建物がなくては保育に支障を生ずるし風の強いときにも困れば炎天の下では保育出来ないのである。森の中に於ける保育も結構であるが毎日家なき森の中では保育上幾多の支障を來すことはいはずとも知れ切つたことである。それで幼稚園としての必須條件は保母あり幼兒あつての上
に一定の設備あることである。即ち幼稚園といふ以上は保母と幼兒との外に保育を行ふべき場所が必要である。たとへそれが固定した場所でなくともまた一定の建物がなくとも必ず保育すべき場所がなくてはならぬ。

而して保育すべき場所は常に移動性を以てゐるよりも一定してゐて時に應じて移動する方が便宜である。また屋外保育は至極大切であり結構であるがまた屋内にて保育を行ふが爲めに建物を必要となすのである。

二

幼稚園施行規則第十九條には次の如く幼稚園設備につき規定してある。

幼稚園ノ設備ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ。

一、敷地ハ道德上及衛生上害ナキ所タルコト。

二、建物ハナルベク平家造トシ組數ニ應ズル保育室遊戯室其ノ他必要ナル諸室ヲ備フルコト

三、保育室ノ大サハ幼兒五人ニ付一坪ヨリ小ナラサルコト

四、遊園ハ幼兒一人ニ付ナルベク一坪以上ノ割合ヲ以テ設クルコト

五、保育用具、玩具、繪畫、樂器、黑板、机、腰掛、砂場等ヲ備ヘ其ノ他衛生上ノ設備ヲナスコト

三歳未滿ノ幼兒ヲ入園セシムルモノニ在リテハ前項ノ外之ニ要スル相當ノ設備ヲ爲スベシ。

是等の條項は幼稚園を設立する場合の設備を規定するもので之に該當しないときは地方長官がその設立を認可しないかも知れないのである。それで第十七條に於て

幼稚園を設置セムトスルトキハ公立幼稚園ニ在リテハ管理者ニ於テ、私立幼稚園ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ地方長官ニ申請スベシ

一、名稱

二、位置

三、園則

四、設備

五、經費及維持ノ方法

六、開園ノ期日

七、私立幼稚園ニ在リテハ設立者ノ履歷書

前項第一號及第二號ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三號及第六號ノ變更ハ地方長官ニ開申スベシ位置ニ關シテハ敷地ノ面積地質及附近ノ情況、建物ノ配置ヲ記載シタル圖面及飲料水ノ定量分析表ヲ添付スベシ

とある。是等幼稚園設置の際、それ〴〵認可を受くべきこと 勿論勝手に幼稚園を設置出来ない。

三

幼稚園令によるときは名稱があり園則があつて保姆と幼児があつても幼稚園の位置が不定では認可を受けることが出来ない。即ち一定の位置があつて敷地がなければ幼稚園令に於て認定する幼稚園では無い。そして敷地は道徳上及衛生上害なき所たるべき條件がある。しかし道徳上害のあるなしは甚だ不明であるし衛生上の害についても比較的事である。しかし多數の幼児を集めて保育するに當り苟も道徳上害なき所たるべきことは勿論である。幼児を保育してその心身を健全に發達せしめ善良なる性情を涵養し家庭教育を補ふを以て目的となす幼稚園が明白に道徳上有害なりと認められる場所に設置せられなくてはならぬ。幼児は模倣性に富むものであるから他の教育機關よりも一層道徳的に無害なることを肝要なりとする。しかし幼児の心身の發達は幼稚であるから相當年齢の生徒に道徳上有害な場所でも幼稚園として有害なりと認められない場合もある。

また幼稚園の敷地が衛生上害なきことは至極肝要である。軟弱なる身體を有する幼児を多數收容して保育するのであるから餘程注意して衛生上害なき所たるべきものである。大人には左程問題とならざる所でも幼稚としては非常に重大な關係があることを考量せねばならぬ。また衛生上左程有害なる所でもくとも交通の危険なる場所も幼稚園の敷地としては餘程考へねばならぬ。中等學校などでは交通の便利なる程よい位置であり交通上の危険などは左程重大視するに及ばないけれども幼稚園では入口の便利なることよりも危険の少い方がよいといふ有様である。兎に角幼稚園の位置、敷地は幼稚園として特別な注意を拂はねばならぬ。殊に幼児の幼稚園に昇降する距離が著しく問題となるのである。短距離で通園することが出来成るべく徒歩で通園出来る方がよい。また附添なくとも通園出来るならば理想である。しかし三歳未満の幼児を入園させるが如き場合は當然附添人の送迎を要するし普通幼稚園でも大體送迎の附添人を必要となす場合が多い。

兎に角幼稚園の位置は非常に重大な問題であり敷地には細密な考量をなすことが肝要である。

四

幼稚園として幼児の多く得られ想な位置を第一に選定することは私立の幼稚園經營には至極重大な要件であるが幼稚園はどこまでも教育事業で單なる營利事業ではないから十分敷地が道德上衛生上害なくして教育上有利な所でなくてはならぬ。従つて幼稚園を小學校に附設するも一法でありまた女學校に附設經營することもよい。小學校に附設するときは凡ての學齡兒童が義務的に小學校に就學するからその

兒童の弟妹が相携へて幼稚園に通園するの便宜あり小學校低學年に對する設備を利用し得るの利益もある。小學校の低學年と幼稚園の融合統一せる教育を施すためには是非小學校と幼稚園とを併置せねばならぬ。勿論この場合には幼稚園は寧ろ獨立するのではなく小學校と合一したものになり英國のインフアントスクールなどはこの種に屬するものである。ナーセリースクールの如く小學校より獨立して小公園などの附近に設立せられしかも小學校兒童を附添といひ豫定せるが如きものであるから小學校より程遠からぬ位置に設置せられるのである。

また幼稚園が女學校女子師範學校などに附設せられることは幼稚園本來の立場からではなく女學校教育の要求よりまた女子師範學校の練習幼稚園としての必要からである。女子教育上幼稚園保育を理解させ實習させまた幼兒に親しませる等の要求から女學校に附屬幼稚園を設立することは至極肝要なことである。この場合に於ては小學校と幼稚園とが併置せられるが爲に起る不便がなく利害の衝突するが如きことも少く兒童と幼兒との間に起る問題の如き面倒は生徒と幼兒との間に起らない。従つて大きな小學校に幼稚園を附設するよりも女學校に附設することが便宜である。女子師範學校に幼稚園を附屬せしめることは論ずるまでもなく女子師範教育上重要なことである。女子師範學校教育が小學校教師だけを養成するが如く考へ小學校は附屬せしめるが幼稚園を附設しないが如きは甚だ不完全な女子師範教育といはねばならぬ、幼稚園令第十條第一項に於て小學校の本科正教員の免許狀を有する者は保母の無試験檢定を受くることを得といふ項目のある以上是非女子師範學校に附屬幼稚園を設立せねばならぬ筈である。

コロンビヤ、テイーチャースカレッヂ

附屬幼稚園

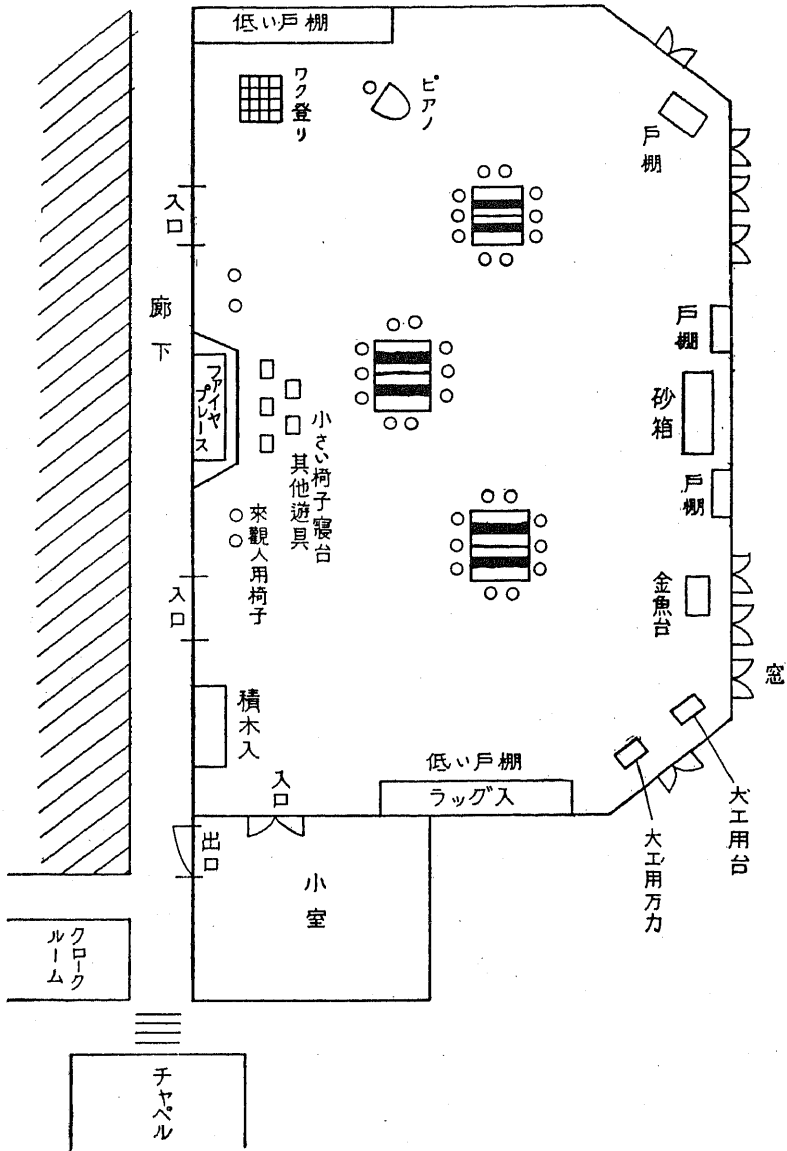
—— 在 ニューヨーク ——

宇佐美ケイ

同幼稚園に就てはすでに多くの方から屢々紹介されて居りますが私もその一日の保育の實際を此處に記述する事にいたします。

幼稚園としては廣し一室と他に小さい部屋が一つの續いて居り、別にコート掛、手洗ひのついている所謂クロークルームがついて居りまして小兒は朝來たとき或は部屋の外に出る時に此部屋で仕度をする事になつて居ります。カレッヂの建物の一部で廊下は幼稚園の専有になつて居りません。重

なる保育室はその廣い一室だけであります。廊下に面して入口が二つ、其片方は外來者が隨時自由に出入することの出来るやうに常にあけ放してあります。入口の反對側は大きい窓があいてゐて校庭に面し、左右兩側はその一部分に同様の窓がついてゐます、如何にも明るい感じのする部屋であります。其の窓下に或は壁に添よて砂箱、戸棚、其他金魚、植木鉢の台が置かれて、廣い部屋に何のしきりもなく極めて廣々とした感じがいたします。



す、部屋の形は不正六角形とでもいふべき形で、一寸圖解する方が便利と思ひますから不完全な圖を記しますと、まづこのやうなものであります。

尙お庭といつて別にありません、晴天には前の廣場で遊ぶといふ事でありませぬ、私は十二月に訪問いたしましたので、殆ど室内だけの遊びを見學いたしました。

小兒の机は二人用長方形の者でそれを圖の如く合せて丁度三つの席が出来て居ました、これは二つにし或は四つにする事もあるといつておられました。室の兩側の低い戸棚は大人が腰かけるのに丁度よい位の高さで、事實參觀人、或はカレッヂの學生母親たちが腰をかけて居ました。いつも數人は此處にかけて居ります。

其戸棚には小兒がレストタイム（横臥して休息する時に敷く各自の小さい敷物がはいつて居ります。積木入の戸棚も亦低いものであります。そ

の中にはヒル氏の積木がはいつて居ります。

ファイヤブレイスには實際は火を焚いて居りません。たゞ部屋の裝飾になつて居ります。御承知の通りアメリカの屋内は冬でも私共日本人には熱過ぎる位の濫度に保たれて居りますから、小兒達（先生も）室内では夏の着物を着て居ります、外に出る時には例のクロークルームですつかり身仕度をし酷寒のみぎりは皮のコート皮の帽子、ラバンユーズといつて長い上靴の上にはく靴で身堅めし出ます。

ファイヤブレイスの前には可愛い、ベットや椅子、卓子があつて、まゝ事遊びの道具もすつかり揃つて居ります、其大きさは人形でも遊ぶ事が出来、また子供自身がねることも、腰かけることも出来る大きさのものであります。

戸棚の中には種々の玩具、手持の材料がはいつて居り、棚の上には子供の製作品などがのつて居

ります、子供の遊ぶ既製玩具は極めて少ないものでした。

小児の数が四十人足らず、先生が四人、他に練習生が常に一人づゝ邪魔にならぬ程度にしか小児と一緒に居ります。ノートを持つて研究に來て觀察してゐる學生が他に二三人づゝ常に來て居ります。外來者に對しても極めて解放的であつて、いつでもだまつて靜かに其部屋にはいつて參觀することが出來ます。だまつて、といふのはそれは來訪者の餘儀なくとる態度で、先生方は子供の居る間は止むをえない場合、例へば或特別に注意を要する子供の母親が參觀に來てゐる場合に時々其母親に囁く位の事であつて、一切外來者の存在を認めないのであります。

一日の保育

保育時間は午前中で、九時から十二時までであります。小児は八時半頃からぼつ／＼參ります、

クロイクルームで可なり長い時間を要して先きに述べた嚴重な冬仕度から、シャツ一枚の身輕な姿になり、手を洗つていそ／＼とお部屋にはいつて參ります。先生はとうに來て居られて部屋の中を、あちこちと何か用事をして居られる先生もあり、例の子供の机で昨日の續きの仕事にかゝつて居られる先生もあります。此處にグロッサリー（雜貨店）の計畫遊びの第二日目を記して見ます。

積木で建物は全體に出來上り、窓も明き、入口も出來て居ります。二三人の男兒は更にその手入れをして居りましたが、先生と店の裝飾に就て相談をし、其結果先生は綠色の木綿の切を出されそれを適當の幅が切つて店の前面の商品の並ぶ窓の上を掩ふことになりました。すると一人の男兒が白く厚紙にブラッシュで GROCERY と書く、中々上手に書けました。これを書くのは机の上でなく、畫架で書きます。他に二人の男兒が大工の作業で

押し車をこしらへてゐます、可なり大きいもので子供の身體にふさはしい大きさであります。この車の製作は一週間も前から初まつてゐるといふ事でありました。いよ／＼車輪がつく事になりました。小兒の木工に既製の車輪を與へる事は非常に子供の仕事を活かすことが多いといふ事を所々で此作業を見る度に感じた事であります、此處にも大小種々の車が用意されてあります。

數人の女兒は二人の先生と一緒に賣品の製作にこそがしくして居ります、クレイペーパーと綿で様々の果物、野菜が出来ます。

これ等の幼兒は此遊びに直接携はり、計畫的の作業を或人は可なり長い間續けて來たのであります、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或女兒はファイヤブレースの前で所謂お母様ごっこをして遊んで居ります。これがたとへどんなに廣い部屋にしても一室でなされてゐて然も

相互に相犯すことなく、全く自分の遊びに没頭してゐる所は如何に興味中心の作業であり、自發的の遊びにしても、日本の小兒にはすぐは眞似の出來ない所でありませう、否小兒が出來ないのでなくかうした躰けをすることが日本の年長者にむづかしいのであると感じた事であります、小兒は自分で一番よく自分の満足する遊びを見出すもの、年長者は環境をこしらへる役目を負ふべきで年長者自身も亦その環境の一つあらねばなりません。此點に於て我々年長者は反省しなければならぬ點が多々あると思ひます。遊び友達の要求が自然に起るまで一人遊びの出來ない、即ち自分で遊びを見出しえない子供があるとすればそれは子供のせいではなくして大人が子供をそねたものと考えねばならぬと思ひます。

さていよ／＼店開きといふ事になり賣品は店に並べられ、店員は部署につき、お客さんが次から

次と買ひにまゐります。バナ、一本買った子供がすぐ其場でむしりかけますと賣人はすぐそれを見とがめて先生に訴へました。先生は静かに、これはお友達が折角骨折つて美しくこしらへたもの故こんなにするにはよくないことだといふやうなことをいつて居られました。

丁度お茶の時間がさしせまつて女中が種々の者を運び初めました。一部の小兒は(十人位)一人の先生につれられて列を作つて手洗ひに部屋を出ました。次にまた一組と、丁度三組に分れて順々にかゝる、二人の男兒が先きに女中のおいていつた牛乳とオレンジの汁と二種のカップを一つ或は二つ宛運びます、約五勺位の牛乳とやゝそれより少いオレンジ汁の各のカップには、麥稈が一本づゝ入れてあります、他に各自に紙のナフキンを一枚づゝ渡します、勿論先生方の前にも、一ぱいの

牛乳とナフキンが置かれます、お給仕の終つたところで、おいしさうに、ゆつくりといたゞきます。牛乳とオレンジの汁とは小兒の體質によつてわけるといふ事であります。

お八つがすみますと、めいゝ自分のカップを部屋の隅の臺の上に片づけ、女中がそれを下げます、丁度その時刻は十時半でした。これから休息時間にはいるのでありますが、先生は部屋の可なり厚い窓掛ブラインドをすつかり下されます、その間に小兒は戸棚からめいゝのラッグをとり出し、自分の好むところにそれを置いて、ごろりと横になります、ブラインドのすつかり下りた部屋は可なり暗くなりす。勿論小兒も先生も無言であります、先生は三人とも適當な位置に椅子を持つて行かれて小兒を見守つて居られます。強いて眼を閉ぢさせやうとはされませんが自然皆心地よげに眼をつぶつてねて居りますが、中にはばちりゝゝ眼を開

いてゐるもの或は自分の作つた玩具の船を持つて枕許に置いて見たり、手にとつたりしてゐる子供も居りました。正味十五分間で先生は窓掩をすつかりあげます、其時蓄音機をかけられました、如何にも静かな曲で、休息から次の活動に入る適當な移行である事を思ひました。其間に小兒は自分の敷物を元の位置におさめます。

そのあとに唱歌、遊戯があります、ピアノの周圍に圓く坐して（あちらの小兒はよく床の上にあぐらをかきます、小兒ばかりでなく先生もなさいます）歌つたり、スキップしたり、律動遊戯をしたりいたします。其群から自由にぬけて例の畫架に向つて糸をかいてゐる小兒もあります。また數人は繪本に見入つてゐるといふ形です。十一時半頃からそろ／＼お迎へが來ます。五人のお母様らしい方々はそのまゝ例の低い戸棚に腰かけて小兒の遊戯を見て居られるのもあり、或はさつさと自分

の小兒をつれ出し、クロークルームで外出の仕度をさせてゐます。勿論小兒は一人々々の先生に、さやうならの挨拶をして部屋をします。十二時には殆ど全部が歸つて仕舞ひます。それから先生方は私共のやうな參觀人、或は研究の學生の質問に應じられます。私は小兒は勿論であります、先生方の充實した仕事の後の満足と思ひ、それと同時に病勞されたであらうと察した事でした。

休息時間に就ては、今日、幼稚園及び小學校の初年級に於て、神経系統の擁護の上に、筋肉病勞の回復に、極めて効果の大なるものとされて居りまして、全アメリカを通じて均しく實行してゐるといふ事でありました。

此幼稚園がミシヒルの指導の許に常に研究の中心になつて居ります事はどなたも御存知の事でありますが今其保育の實際を比較的詳しく記載いたしました御參考に供した次第であります。

新設幼稚園の経験について (承前)

東京市竹町小學校附屬幼稚園 鎌 田 し ん

市街の建設と其遊び

二の組の幼児三十餘名と先生二人街の散歩に出かける。「先生今日花電車が通りますよ」急いで松坂屋の前まで行く。丁度上野の方から、花電車が五臺來る、皆大喜びで觀る。

幼稚園へ歸つて來て 僕先生花電車描く」一生懸命に電車を描いて居る。砂型が入つて居た空箱を見つけて電車を作り出す。窓を剪り、車をつけボールはヒゴで造る。色紙やクレイヨンで花電車にする。三臺、四臺、五臺と段々出來た。ハトロロ紙に墨で線路を描き、一生懸命に走らせて遊ぶ。

翌日いろ／＼の空箱やボール紙、キビガラ、手工テープ、色紙、動物鋏等を出して置いた、交通巡查とゴー・ストップが出来る、店舗と住宅が電車の向側に並ぶ、話し合ひのうちに、家の中に入る人と家具、商品、看板等に氣がついた、松坂やは箱を重ねて高い感じを現し多數の窓には、カーテンをしぼり、屋上庭園には草花を植へた。果物や、時計や、せとものや、薬や、魚や、八百やたんすや、玩具や、呉服や、等が出來、道路樹は自然の木及葉、キビガラ、色紙等を用ひた。材料は成るべく豊富にしていろ／＼使用した。空箱、毛糸、手工テープ、粘土、繪具、種子(水瓜、柿、南瓜)

色紙、包装紙、チリメン紙、ガラス紙、糸等、此の遊びは三ヶ月程續いた、どの組の子供達も朝來るときつと見に来る、そして作業を始める、誰でも電車や自動車を動かして遊び、此の遊びによつて、自己の仕事を計畫し、よりよき結果のための協力を學んだ。

動物園製作とその遊び

當園から徒歩三十分で動物園に赴く事が出来る。又省線電車に御徒町から上野まで乗ると路の危険な處も少く幼児達はいろ／＼觀察も出來て大喜びである。日曜、祭日には父母に連れられて動物園に行く機會も多く幼児の動物園に對する興味は一層深く、自由畫、粘土、剪纸紙、ボール紙、キビガラ等の製作に發表する。

或る日登園する早々先生に粘土をするやう望む、早速粘土の用意をする。五六人集つて象、龜、

犬、山羊、ウサギ等次々面白い様に作り初めた。

「あゝ澤山動物が出來た、動物園のやうだ 先生！ 動物園作らない！」。「作りたいなあ」

幼児の要求から始つた動物園の製作は毎日粘土、ボール紙、木片、キビガラ等の材料によつて製作がつゞく。動物が出來るとそればかりでは動物園を作るといふ製作慾に満足が出來ない。君動物園のお家作らうよ「幼兒自身お家の材料を考へシシ、象、ウサギ、犬、龜、へび、カンガルー等のお家が出來た、ボール箱をこわして大きな平たい箱を作つた、皆でエナメルを塗り砂を入れる。先生！動物園には道がありますよ」そうだ道がある見物する人の道がありますね「それぢあ初つからだ、道を作らう」と皆て人の通れるやうに並べかへた。大體動物園らしくなつて來た、幼児の喜びは一方ならず興味は増々深く、朝早くから製作にかゝつて居る幼兒の興味が深くなるにつれて製作慾も

あふれるやうに次々と製作が考へられ見物人も、樹木も出來た。

幼兒は完成の喜びに満ち、本當の動物園を見る氣持で見物する。二三日過ぎた日「先生僕昨日お父ちやんと動物園へ行つたら切符を賣る處があつたの」材料を與へると、その製作に興味を持ち、切符賣場、小父さん、切符と出來上つた、それからは切符を賣る人、受付の人をきめ、後の幼兒は見物人になつて、切符を買つて受付に渡し、動物園の中に入る動物園遊びが初つた。

大きな動く電車で電車遊びが初つた頃何日の間にやら電車遊びと聯絡がとれ、幼兒は竹町から松坂や前まで電車に乗り松坂や前から歩いて動物園に行くといふ様にして毎日遊んで居る。

吳服や遊び

此の遊びは當園保姆圓山マル子氏の計畫指導に

よるものである。

冬は雨や風、雪等の爲、屋外遊びの機會が少く時々お天氣のよい時には幼兒は園外に出る事を大變に喜ぶ尙度々お天氣のよい時にはすぐ隣の公園や、近所の商店の並んで居る佐竹通りに出掛けて果物屋、玩具や吳服や靴や等を見て歸り、觀察の發表をする。

商店街に住んで居る子供達なのでその發表も果物、玩具、吳服や、靴や、八百や洋服や等の發表の方が進んで居る。

一月になつてから一年保育の子供の中にクレイヨン畫や、墨繪に模様や圖案的のものが現れて來た、これを見逃しては大變とその傾向を延す目的のもとに吳服や遊びを初める事にした。毎日朝から製作は續けられ、人形の着物、帯、布團、エプロンと次から次と出來て來ました。中にはお母さんの着物の柄や帯、半襟等の柄を見て來て描く幼兒

もある。

材料は半紙、カベ紙、包装紙、ハトロシ紙、唐紙へ墨又はクレイヨンで描き泥繪具（染料やで買ふと安いものです）や水彩繪具で色彩する、その時燧明バン水でとくと色が鮮になる。クレイヨンも用ふ。

自然物も使ふ。蓮の切り口、クルミの半分に分けたものゝ木の葉、銀杏、紅葉、柿、櫻、菊等に繪の具を筆でつけて紙に押す、この時糊を少量入れると、散らなくていい感じが出る。芋版も子供が喜ぶ。屑芋を輪切りにして、子供に模様を畫かせる。木彫の丸刀又は古いペン先の反対の方を砥石でといでペン軸にさしてほる。

製作品が澤山出来ると幼児が店やを作つて賣買をする機運に向ふ。呉服包も出来た、（反物紙の古いのを使ふ）大箱木で店も出来、ボール紙で看板も出来る。

番頭さんを三人づゝ一日交代にして定める、後の子供は二軒のお家に別れ、そのお家は幼児達で定める。お母さん、お父さん、姉さん、赤ちゃん、女中さんと定め、飯事をしながらおよばれの時に反物を買つて持つて行く、買ったものは人形遊びの時使ふ、そのやうにしているゝ實生活が展開される。お金はお母さんが持つて居て頂く事にした、本當のお母さんに頂くつもりで遊んで居る。追記 ながゝとまわらぬ筆で書きつらぬお恥かしい存じます。もつとゝ書きたい事も御座います。が禿筆で思ふにまかせませぬ、どうぞ皆々様からいろゝお教へ頂きたく存じます。

今夏東京女子高等師範學校で開かれる

「遊戯講習會」本會宛申込

「文部省主催の保育講習會」は各地方長官に願出のこと

十五日の締切りに後れぬよう手續をなさいませ

幼兒の爲に歌を作りて (2)

葛原しげる

大正四年頃、最も盛んになつて、幼兒の世界にもその存在を明かに、且つ確かにして、入つて來たものに、蓄音器があり、活動寫眞がある。前者は、ラツバのついてゐるのが普通であつて、私の唯一の小型の古い蓄音器は、長女の生れた時、琴よりも尺八よりもと思つて、レコードをきかす氣になつて買ったラツバなしの、その頃最新式のユニホンといふのでした。しかし、どこにでも有るのは、ラツバ付でしたから

箱の中から聲が出る

ラツバの奥から聲が出る

といつたのでした。これに比して、活動寫眞は、

まづ、小松氏が曲を作つて、後から、私は歌詞を當てゝ作る事になりました。曲趣は、いかにも忙しく、變化の多いものですが、何を中心に歌ふが善いかの決定に因つて、それまでに、僅かの經驗しかない映畫の思出の中に、筋の通つた物語でなく、何か、何處かの園遊會か、街路の四つ角かの光景のあつたことを、はつきり思ひ出し得ましたので、それを二節に分けて作つてみました。その中に、子供や犬が居つたか何うかも知らねば、子供の活動する様も少し怪しいのですが、少くとも蒐め得た外國のコードモの爲の畫には必らず犬が入る事を忘れませんでしたから、犬を入れました。

少くともさういふ映畫を見てゐる大人も、子供も、きつと、効果的にそれらを見て、にっこりするでゐらうと思ふ様なものを出したのです。

活動寫眞

小松耕輔氏曲

一、出て来る 出て来る、いろんな人が、

あれ あれ 小さな犬まで来るよ

笑つて来る人、駈け出す人

子供は 足並そろへて来る

二、自動車、荷車、馬車、電車、車

あとから〜續いて来るよ

あれ〜来た来た、飛行機まで

子供は手をあげ 帽子を振る

(大正幼年唱歌第四集)

第一節の笑つて来る人や、第二節の手をあげ帽

子を振る子供はめい〜、活動寫眞にうつされてゐる事を知つてゐたのでせう。しかし、今の東京の光景でない點は、第二節の車の種々が、一緒に寫つてゐる所です。疾走車と、緩走車とは道路を異にしてゐる今の東京の大通りですから……。しかし、さうしたせんさくよりも、二つの音を切れ〜に使つた曲に、あてはめるのですから、即ち出て 来る 出て 来る

に、對照して、自動車や、荷車を出さうとしますと、

じど う車、にぐるま、馬車、電車

となります。就中、「でんしゃ」が「でしや」にさへ聞えるかも知れない事になりました。さういへば、「自動車」を「じど、う車」とし、荷車を「にぐるま」として、各々、兩斷してしまつた形になつてゐますが、これは、形の上であつて、歌へば、ずん〜、次々に、後から〜現は

れて来る感じは、豊かに出てゐるのです。どうぞ、
實地曲について、歌つて見て下さいまし。

○

「かなしかりけり」といはないで、かなしさをあ
らはし、「さびしさ」も、さびしいといはずに表は
す方がよいといふので、

枯れ枝に鳥とまりて秋の暮

を教はつた事がありますが、

御門

梁田 貞氏曲

急いで來れば 見えた 見えた

御門が見えた

うれしや うれしや

御門の中に あれ／＼見える

先生が見える

うれしや うれしや

〔大正幼年唱歌〕第五集〕

梁田氏の名曲がついてゐますが、この「うれし
や／＼」を入れないで、

急いで來れば、見えた 見えた

御門が見えた

御門が見えた

御門の中に あれ／＼見える

先生が見える

先生が見える

ともしかけました。しかし、幼児は、ことに、女
兒は、喜怒哀樂を、すぐ言葉に現はし、その後す
ぐ動作に、最も適確に表はするのが常です。小さな
拳で胸を叩いて、「あら、うれし」とは、實に、よ
く謂ふのです。また「あ、つまらない」とも、よ
く謂ふのです。大人ならば

御門が見えた／＼

先生が見えた／＼

と反覆して、嬉しさは、十分に出来るのですが、幼児ですから、そのまゝ、

うれしや／＼

としました。しかし、今にして尙ほ、かういひますと、何だか、ませた子、おしやまさんを見る心地がします。少くとも、「うれしや」の「や」の感動詞の爲でせうか、

けれども、日常の言葉でなく、節をつけて歌ふのですから、「うれし」で止めるのより、イ列の韻で止めるより、「や」の大きに明るい韻で止めるべきでせうか――。

今、氣のつきます事は、此の冒頭の

急いで來れば

でなくて、

急いで來たら

であらうとも考へます。しかし、それも、「來たら」

の「たら」が下品だから「れば」がよいとも考へられますが、如何でせう。

野遊び

梁田貞氏作曲

一、ヒラ／＼ヒラ／＼蝶々が舞うて

チビ／＼チビ／＼小鳥が啼けば

葦や たんぼぼ きれいに咲くよ

野原で遊べば おもしろ樂し

二、近くの丘には陽炎もえて

遠くの山には霞がひけば

山にも丘にも櫻が咲くよ

野原で遊べば おもしろ樂し

(大正幼年唱歌「第五集」)

歌を作るといへば、これは、ほんとに作つた歌でした。こねあげた歌でした。中學や、女學校でなく、小學校でも、もはや三四年になれば、

蝶——小鳥——

ヒラ／＼チビ／＼

舞うて——啼けば

近くの丘——遠くの丘

陽炎——霞

もえて——ひけば

など、技巧澤山の修辭に、一度は、よい氣持になれるでせう。しかし、幼兒は、恐らく、少くとも第二節の景色などは、面白くも楽しくもないのではないでせうか。殊に、歌つて教へた感じからは、各節の末の行の、

野原で遊べば

が、意外に、非音樂的であり、「へ」と「ば」との濁音重複が、氣にしますと、非常に不愉快で堪らないといふので、

野原の遊びは

と、名詞にしてしまつた事です。序に、

霞がひけば

の曲が、ミレド と下つてゐますのに、元來、「ひけば」は、レミド ともなるべき語ですから、之も氣にかけ出すと、日本語に聞えませんが、少しく無理ですが、「ひけば」ほど強くない「かゝり」にかへてみました。それにしても霞は、遠山に、ひくのですか、かゝるのですか、何れが、語法上正しいのでせう。

あ 山

小松耕輔氏曲

一、お山に登つて驚いた

元氣を出して登つても

頂上までは 中々で

低く見えても高かつた

二、ほんとは高くて驚いた

あれ／＼遠くが よく見える

お山の向に山がある

あんなに高い山がある。

(大正幼童唱歌第五集)

よくある例ですが、奈良に遊んで、低さうに見える三笠山に登つて、へとくになるとほりです。

山の誘惑は、こんな所にもあつてニツコリさせられます。タゴールは、お山は空へ届かうとして、膨らんだといひましたが、見てをれば、山は、いろくくの事を考へさせます。登つて見れば更に多くの事を考へさせます。そして、小さい人間を、大きな事實を以てどやしつけます。

さて、此の歌は、二節に分けてありますが、もと一つの驚異です。第二節は、高いから遠くがよく見えるのです。そして、第一節の續きです。別ではないのです。第一節で、「低く見えても高かつた」と驚いたのですが、更に、遠くが、よく見えるので、今更に高い事が、よく分つて、重ねて驚

いたのです。

かくて、もし、これが幼児の歌でなければ、

あれく遠くもよく見える

.....

あんなに高い山もある

としたかつたのです。しかし、「も」といふほどの心の餘裕はなく、あくまで、主格本位なのです。「遠くが……」高い山が……」なのです。強いのです。他の何も、頭には、また目には入つて來てゐないのです。眞一文字なのです。

○

あべんたう

梁田貞氏作曲

ほーら お午になりました

ちやうど おけいこ すみました

楽しいく あべんたう

お手々を洗つて 行儀よく

みんなで お食事いたしませう

(大正幼年唱歌第五集)

由來、食物や飲物の話や歌は、やゝ品下ると考へられてゐます。金銭の事も口にするのを憚るのが日本人の潔癖で、愉快でもありませんが、幼児にとつて、寝る事、遊ぶ事(時に泣く事さへも)そして、飲食する事は、大事な仕事であり、また、特權でさへあります。況して、小學校も同じですが、幼稚園の辨當は、楽しく、待遠しいものに相違ありません。そこで、大膽にも此の様な新作を試みたのでした。それで、思ひきつて、三行目を

あいしいくおべんたう

にとも考へましたが、あまり感覺的ですから、少し、上品に、そして、又、さうでもありますから

たのしいくおべんたう

にしました。さて、後になりまして、最後の

みんなで お食事いたしませう

の大人びてゐるのを、

みんなで、これから、おべんたう

の自然味にかへました。

尙、第二行の

ちやうど おけいこ すみました

といふのは、都合によりましては

ちやうど、おあそび すみました

ちやうど、お遊戯 すみました

ちやうど、お唱歌 すみました

ちやうど、をり紙 すみました

ちやうど、積木が すみました

その他、實際、してゐた何事にでも、歌を直して歌ふ様にして頂きたいと思つてをります。

お手々を洗つて 行儀よく

は、食事の作法を、此の時から覺えさせたいので、殊に、食事の前後に手を洗ひ口を漱ぐ事は習

慣にしたいと思つてです。これは、少し藥が利きすぎてゐるでせうか。

○

文學上の修辭でなく、そも／＼文字でなく、言葉による表現上にも、最も善いのは最も正しい事である。最善の表現は最も正しい手法による表現に他ならない。その最も正しい手法による表現とは、即ち、最も自然的な表現である。そして、その最も自然的な表現といふのを、幼兒が最も苦もなく、正しとする事は驚くべきであり、大人は三省しなくてはならない點である。

一語説は、幼兒の表現には、少しも珍らしくない。知慧が有り過ぎ、言葉數を多く知つてをり過ぎる大人にとりてのみ、一語説は役立つと考へられます。

事實を直觀したり、何かを體驗したのでなくて題を先づ定めて作歌する時、とかく概念が先にな

つて、意外な失敗をする事があります。

お玉じやくし

小松耕輔氏作曲

お玉じやくしが、大きくなつて

短い脚が、だん／＼生えた

足が生えても歩かずに

水の中をば 泳いでまはる

早く 尻尾を無くして歩け

水の中から 飛んで來い

(大正幼年唱歌第五集)

この中に、不自然がある事に自からも心付かず作曲者も心づかれず公表後數年を経過してしまひましたが、まだ平氣でおましたところ、

水の中から飛んで來い

が變だと、ふと心付くと、いかにも鈍感でありました。之では、まるで蛙に翹でも生えようです、

(四〇頁下段につづく)

幼稚園の昔と今

氏 原 鏡

三六

- 1 昔は幼稚園の数が少なかつたが
今は一千五百以上となる
- 2 昔は托兒所はなかつたが
今は托兒所及び農繁托兒所がある
- 3 昔はフレイベル氏主義のみで保育したが
今はフレイベル氏主義とモンテッソリー氏主義を併用す（我國にてはモンテッソリー氏主義は多く用ひられ居らず）
- 4 昔は保育室内幼兒機の排置は小學校の如く塗板に面してならべられたるも
今は大機の周圍に又は圓形に排べたまはりで幼兒を着席さす（多數の幼兒を一室に收容する場
- 合は今尙小學校式に机を排列す）
- 5 昔は保育の材料にフ氏製定の恩物のみを使用したが今はフ氏恩物の外にモンテッソリー氏製定の教具（此教具は一般に多く用ゆる處少し）自然物其他適當の材料を用ゆ
- 6 昔は大形積木なかりしが
今は各種の大形積木を玩用せらる
- 7 昔は豆細工に大豆と細き木箸を用ひこれを接續する小錐と小刀を用ひて大に不便なるもので有つたが
今は豌豆と「ヒゴ」（竹の細く削りたるもの）を用ひて錐も小刀も用ひず最幼兒にも容易に作る事が

出来る様になつた。此發明者は五十餘年前東京女高師附屬幼稚園保姆近藤濱先生なり

8 昔は第十一恩物針畫(洋紙面に柄付針を以て刺して種々の形を表はすもの)を使用したがつ

今は視力に害ありとて用ひぬ様になつた

9 昔は箸排べには丸箸を用ひて机上にころげ易くあつたが

今は角箸を使用する様になつた

10 昔は色紙が七夕祭りに用ゆる半紙の色をよくない物ばかりで有つたので洋紙美濃紙西の内等に染めさせるに色よく染り兼ね度々染め直ほさせたものなりしが(當時染料の新しい物發明なく又染方の未熟による)今は染料も新らしきもの出來立派に色紙が出来る様になつたこれ染術の進みたるによるなり

11 昔は遊び場に砂場や「ブランコ」がなかつたが今は何處の幼稚園でも此設備のない事はない

12 昔は唱歌を自ら作らねばならぬ時代で今日の様

に得られず、仕方なくお茶の水幼稚園の保姆豊田英雄、近藤濱の兩先生が作歌されて夫れを宮内省式部寮の伶人先生に作曲をお願いして使用しました。斯くして明治十四年頃東京音學學校が出來此處から小學唱歌集初編二編三編及び幼稚園唱歌集の出版ある迄凡七年間東京女高師の幼稚園本校小學校に使はれたが、音學學校よりの唱歌が出來てから此唱歌は用ひぬ様になりましたが、實に不自由で唱歌には苦心の時代であつた。今は官立音學校を初めとして私立音學學校の立派なものが出來立派な卒業生が續々世に出て此人等から良き唱歌が出されて實に合せ多き時代となりました。

13 昔の唱歌の譜表は今日のものとは異なり、左に其譜表の一部分を「てふてふ」の歌で示せば

てふてふてふてふ
双調。平調。同。勝絶。壹越。同。同。
 なのにはいとまれな
神仙。壹越。平調。勝絶。双調。同。同。
 のはにあいた
平調。同。同。勝絶。壹越。同。

今は五線の上に黒點白點で表はし其音域の高低も一見してよく知らるる事舊唱歌に比して便利なり

14 昔は樂器は六絃の和琴と言ふものを用ひこれに笏拍子を添へて此琴音は微弱にして「オルガン」「ピアノ」の比にあらず且其調詞の音毎に「オルガン」の如く發するものにあらず又其調子の異なる毎に其糸を立て直ほさねばならぬ不便あり。其後は十三絃琴を用ひしも矢張同様なり。併し和琴の六絃に比しては音域は廣きも「オルガン」の比にあらず此時代は「オルガン」「ピアノ」等は舶來によるもので今日の如く我國で製造出來ず從て高價で購入難の爲め我國在來の琴を用ひた

るも其歌によりて調子を立て直はすの手數有りて式日の外は用ひざるを以て唱歌は樂器なしで手拍子でうたひたりし。今は「オルガン」「ピアノ」は各國に傳へられ唱歌は面白く興味深くうたはれる事の幸福で有る

15 昔は遊戯をするにも唱歌同様に樂器を用ゆる事出來なかつたが

今は「ピアノ」又は「オルガン」に合はせて愉快にする事が出來て誠に結構で有る

16 昔は唱歌の調子は雅樂調より成るもので全者符二分の一音符を主とし八分一又十六分一音符は用ひられぬ故、其調子は長く極優美で有つた。又唱歌の詞は雅言が多く幼兒には其意味の十分解せられぬものも有つたが（これは創作歌で進んだ今日の非難は致し方なし）今は調子は早く唱歌の旋律も幼兒の聲帯に適する様作られ其歌詞も幼兒に解り易くなつた

17 昔は遊戯の手振りは極簡單で多く外國の保育用のものを譯して作製されたが

今は其手振りの稍複雑なるものを用ひられるを見る（簡單なる遊戯を用ひられるもの有るも複雑のものを用ひんとする傾向あるは注意を要すべき事と考ふ）

18 昔は幼兒教育上に資する研究會合なる保育會がなかつたが

今は各市町村の幼稚園所在地には保育會あり其上に各保育會を聯合する保育大會あり又時に全國保育大會の開催せらるる有りて斯道の爲め結構の事である

19 昔は保育上の知識を向上發達の爲にする保育講習會がなかつたが

今は夏期に於て文部省主催の保育講習會の外私設の講習會が聞かれ其他常に各地に於て小講習會の開設あるは斯道の爲め結構の事である

20 昔は幼兒の服裝は和服で中に僅か二人の洋服の男兒あり。お茶の水の園で明治十一年頃、一人は西郷侯爵の息一人は黒川大將の息である。和服の兒の袖は筒袖でなく長かつた。腰には御守入りの巾着を提げ又「エプロン」をかける兒はなかつた。今は男女兒共に洋服で活潑に運動が出來和服は筒袖で輕るやかに皆「エプロン」をかけた姿となつた

21 昔は靴をはく兒なく幼稚園の往復には下駄又は草履をはき園内では上草履をはき歩行に快速を缺いたが今は皆上靴をはく

22 昔は幼兒の頭におけし、やつこ、ちりけ、等の髪ををき年長の女兒はおたばこぼん、に結び前髪を結び又雅兒まげに結ぶ者も有つた

今は男女兒共に頭髮ありて男兒は髪を短く刈り女兒は長く髪をきり揃へり

23 昔は保育者の多くは年長じた者で有つたが

今は若き保育者の多くなりし

24 昔は保育者の服装は柄合細かく地味で有つたが

今は保育者服装の柄合は大きく派出になりし

25 昔は保育者の髪は年長者は丸まげ若き者は蝶々

まげ又は島田まげに結びしが

今は保育者全體に束髪の輕快なるものとなりし

26 昔は保育者東京女高師付屬園では縞の袴をはく

地方幼稚園の保育者は袴をはかなかつた

今は無地の袴又は洋服を用ゆる様になつた

27 昔は保育者の態度風采共に重もくるしく輕快な

らざる感あり。これは其頭髮及び服装の關係よ

り來るものならんも幼兒に明るき感じを附與す

るに物足らぬ感ありし

今は保育者の態度風采共に其洋裝者は快活敏捷

に、其着袴者も同様に幼兒に優良の感情を養ふ

に十分なり。此の輕快なる態度を有する現代の

若き保育者諸氏は此態度の基礎を師範學校或は

女學校の在學中に於て體操科で鍛練せられしに

よるものにて昔時變則出身の到底及ばざる所で

同日の論にあらざるを思ふ。

以上昔時の古き記憶をたどりて

(昭和六年初夏 銀女)

(三五頁よりつゞく)

宙を飛んで來さうです。それで、

水の中から飛んで出よ、

と改めました。今更でもないことですが、その

まゝでも濟まされることを氣がついてから考へれ

ば、まことに、きまり悪いほど鈍感でありました。

水の中から、蛙は、出て來ることは、きまつて

ゐますのに、「飛んで來い」とは、何うしたことな

のでしたかと、今は、不思議に感ずるほどです。

幼児の繪について

—母を目標として—

中 村 楠 雄

▽幼稚園でなぜ繪を描かせるのでせう△

幼児は、其の成長發達のために、常に心身を活動せしめ、之と共に活動の資料を要求する。さうして幼児の周圍には、種々無数の事物があり、常に幼兒を刺戟してゐる。併しこの事物中には、幼兒にとつて利あるもの、害あるもの混在し、幼兒は自ら之を選択取捨する能力不十分なるが故に、こゝに教師は其の指導の任に當らねばならぬ事となる。

さて其の材料は何を標準として、選擇すべきか

と言ふに、一方にはそれが幼児の心身の發達程度に相應する事が必要であり、他方には、幼兒の現在及將來の生活に價值あるものである事が必要である。と森川教授は其の幼稚園教育事項要目中に述べられてあります。

そこで幼兒の圖畫、描き方、遊びなるものは、果して上述の條件即ち幼兒の心身の發達程度に相應するものなりや否や、また現在及將來の生活にとつて價值あるものなりや否やを究明する事によつて、此の問題は解決し得る事と考へられます。

さて同要目第二頁に、幼兒の美的感情は極めて

幼稚なものであるが、併し次第に形の均合、色の配合、といふが如きことに就て感得する事が出来て、これを自己の製作物の上に、あらはすものであると、言はれてあります。

これによつても、描き方遊びは其の心理的發達に相應するもので、まづ前述の條件の第一にかなふものであることを知るのであります。

次に同要目廿八頁に、圖畫の教育的價值として、

- 1、描畫による自由表現の要求の満足、並に其の方法の知識及技能の修得。
- 2、描畫發表により思想の明確を得ること。
- 3、自然並に美術品に對する翫賞力を養ふこと
- 4、描畫材料に關する智識の修得並に用具の取扱上の習熟。

の四項を擧げられ、また前述第二頁中に、積木、粘土、細工、圖畫などは、丁度、建築、彫塑、繪畫といふが如き、藝術の初歩の學習と見ることも

出来る、と述べられてゐる事などによつて、圖畫は幼兒の現在及將來の生活に價值あるものであると云ふ事が分るのであります。

こゝに於て、圖畫は幼兒の心身の發達程度に相應するものであり、且つ幼兒の現在及將來の生活にとつても價值あるものである事が究明されたわけであります。

この故に、圖畫は教育的價值ある、よき活動の資料であるとして、幼兒の保育項目中に加へられ、今日何處の幼稚園に於ても、描き方遊びがなされてゐるわけなのであります。

▽幼稚園ではどんな方法で繪をかゝせるのでせう▽

此頃、急に小學校などで、やれ勞作教育だとか作業主義の教育だとか、勤勞教育だとか、やかましく言はれる様になりましたが、結局兒童の生活

に即した教育を仕様、合自然的な教育をして行かうとするのに、他ならないのかと思ひます。

ひるがへつてこれを幼稚園の教育に就て眺めて見ますのに、今更ら事新らしく論ずるまでもありませんので、今までとても従來の學習學校などとは、殆ど其の立場を異にし、幼稚園の教育とは、全く遊びの指導である、幼児の生活の充實である、と心得て一路邁進して參つたのであります。空なる觀念の詰込などは、邪道の極として排斥したのであります。其の餘りは文字だとか、數だとかは、幼稚園で口にするさへ大罪を犯すものゝ様に考へられた場合もあつたかの様であります。これは幼児教育の眞精神の理解に十分でなかつた一部の人々の、斯道に忠實すぎた餘弊ではありませうが、これによつても従來幼児教育に従つた人々の心意氣が分ると思ひます。そして幼稚園の教育は今もやはり注目的、觀念的な方法を避ける事に變りな

く、専ら幼兒生活の充實進展につとめてゐるのであります。

そこで幼稚園で繪を描かせる精神について、考へて見ましても、幼稚園では、將來繪、かきをつくる爲めの準備として繪をかゝせるとか、單に繪を上手にする爲めにやらせるとか等と、考ふべきでなく、全く幼兒自身の生活に愉悅を感ぜしめ、満足を與へ、以て其の生活を充實進展せしめ様とするに他ならぬのであります。

次に幼稚園で繪を描かせる場合の具體的實際例をいくつか擧げて、御參考に供したいと思ひます。

(一)

朝出勤して、包を机の上へ置くなり、お庭の方へ飛び出して行きました。まだ八時にならぬのにもうお庭の方から、嬉々として元氣な子供達の聲が聞えるのです。自分の口から言ふのは變にはじかる様ですが、本當に子供好きな私

なんです。其の私にあゝした可愛々々三十人の
 幼児が與へられる事になつた今の境遇なんて
 す。朝、眼が覺めると、もう可愛子達の笑顔が
 散らつきます。元氣でうつくしい聲々が耳へひ
 いて來る様です。いゝえ、本當を言ひますと、
 寢ても覺めても私の頭の中は子供の事で、いつ
 もいつばいのです。

そんな私なんですから、あの子供達の張りき
 つた元氣な聲を聞いては、全くぞつとしては居
 られませんでした。

皆んなが私を見つけるなり

「先生お早うございます。」

「先生お早う！」

などと、口々に朝の挨拶を致します。

「まあ！お元氣ね。何をそんなに笑つてゐたの！」

「あのね先生！正彦さんね、僕のお父さんこんな

口髯はやしてゐるつて、かいたのよ。」

「そしたらね、先生！一美さんは僕のお父さん
 のは、こんなに長いぞつて、あれ書いたの」

「ホ、ホ、ホ、それで笑つてゐたの！でもまあお上
 手ね。」

こんな問答をしてゐるうちに段々登壇して、
 子供の數は増して來ます。そして私達の方へと
 集つて來ます。

「先生！僕兵隊さんかけます。」

「先生！あたしお母さんようかきます。」

などと、申し出る子供があります。

「さうを—えらいのね、ちやあ書いて見せて頂戴
 と申しますと、

「はい」

と、お返事をして、いそぐとかき始めます。

こんな事から、あつちでも、こつちでも、木切
 れや棒切れ、さては飛び、のご石（白い線を
 ひくの用ふる）ポケットから持ち出しなどし

て、地面に繪をかく事が始まりました。

一人むし／＼とかいてゐる子供もあれば、二人三人何か樂しげに語りひながら書いてゐるものもある。

「先生、先生、」

と、私を呼んで自分の繪を見よといふ子供もある。こうして見て廻るうちには、本當に地面にかいたのが惜しい、残して置きたいと思ふ様なものもある。話したり、笑つたり、ほめたり、はげましたり、知らぬ間に一時間近い時間がたつてゐました。

思ひ返して見ると、なんと楽しい朝の時間であつたことよ。本當に子供達はよく遊んでくれました。私も全く夢中でありました。殊に正彦さん、一美さん、照代さんなどの繪のうまくなつたこと！

私にとつてあの子供らを遊ぶこと、あの子ら

の繪を見る事が、眞に大きな喜びの一つです。

(二)

會集がすんで（朝の集り から）外に出ました。子供達はどうするだらうと思つて見てゐますと、ブランコに走るもの、滑臺に行くもの、廻轉塔に乗るもの、思ひ／＼にくもの子の様に散らばつて行きました。喧嘩をせぬ様に、泣かない様に、危険のない様に、一人我慢をさせぬ様にと、私の心には油斷がありませんでした。一團の者は汽車ごつこを始めてゐます。修一さんは驛長さんです。友好さんと、秀夫さんは汽罐車です。修一さんが手を舉げると、友好さんの汽罐車の後へ、男の子も女の子も、大勢のお客様がつながり合つて、走り出します。汽罐車がブウーと氣笛を鳴らしますと、後の客車——お客様——まで、ブウー、ブウーと鳴らします。氣笛がどこへでも附いてゐる汽車です。そして

お山を、ぐるりと一廻りして來ますと、

「皆さん、これまででございます。」

と、修一さんは申します。さうすると、こん

どは秀夫さんと、汽罐車は代ります。

「皆さん、お早く願ひます。」

と、言つて修一さんが手を舉げると、また走り出します。私もしばらく見とれてゐましたが

ふと氣づくとき、いつも氣弱の行雄さんと恵美子

さんも、其のそばに行つて立つてゐます。

「あや！どうするか知ら？」

さう思つて、ちつと見てゐましたが、果して

「お仲間に入れて頂戴」

が言へなくて、しよんぼりとして私の方へ近

づいて來ます。

「どうしたの？」

だまつてゐます。

「行雄さんも、恵美ちゃんも、お汽車ごつこした

いのでせう。」

こんどはうなづいて見せます。

「さあ！行きませう」

二人をつれて行つて、

「お仲間に入れてあげてね。」

と申しますと、

「こゝへ入れてあげませう。」

「こゝへ這入つて頂戴！」

あちらからも、こちらからも、にはかに大歡

迎です。こうして二人の氣弱さんも、でも嬉し

さうに、いつしよに走つて居ります。私はそば

について、尙も様子を見て居りました。

其のうちに誰か、

「先生！汽罐車になつて頂戴」

と、いふが早いか、私の後ろに飛びつきまし

た。

「あゝ！先生の汽罐車やあ！」

「あゝ！大きな汽罐車やあ！」

そんな聲々がして、見る間に大勢のお客様が
つながりました。驛長さんや、先の汽罐車さん
も、いつの間にかお客様になつて、ちゃんと乗
りこんでゐます。

「あら！驛長さんがないと汽車は出ませんよ。」

と言ひますと、

「修ちゃん！早う驛長さんになつて！」

と、叫ぶ子があります。

「さあ、修ちゃん！」

と、私が促しますと、それでも一寸列を離れ
て手をあげました。そしてまた直ぐに元の場所
に、飛びこみました。今度の汽車がお山を廻は
る頃には、あつちから、こつちから、お客様が
加はつて、長い／＼汽車になつたのです。それ
で汽車のお道も變へねばなりません。お山を廻
つて、トンネルぬけて、お橋を渡つて、花壇を

縫つて、お庭の中をあちらへこちらへ走り廻は
りました。

そして少し疲れたので、

「さあ！一休み致しませう。」

と、言つて、ベンチに腰を下しました。

また子供達は思ひ／＼の場所に散つて行きま
したが、私のそばで疲れを休めてゐる子供もあ
ります。其のうち、一人二人また繪を書き始め
ました。勿論私もお仲間入りを致しました。ま
た私の周圍に子供が集つて參りました。

「紙へ書きたいなあ！」

突然さう叫んだのは秀憲さんでした。

「クレオンで書きたいなあ！」

さう言つたのは、道雄さんでした。そして女
の子まで

「先生！紙へかゝして頂戴」

「先生、あたしにも！」

と申し出ます。

「さう！お外で随分遊んだから、それじゃお部屋へ這入つて、繪を書きませうかね。」

「あゝ嬉しい」

「先生！紙とクレオンよ。」

「えゝ、紙とクレオンにしますとも」

「あゝ嬉しい」

「嬉しいなあ！」

手をたゝいて喜んでゐます。

私は笛を吹きました。私の組の子供は——私から離れてゐた子供はわづかだつたが——皆んな集りました。(私の勤めてゐるこの幼稚園では、組毎に笛の音色を變へてゐる。)そして静かにお部屋に這入りました。そして直ぐに畫紙とクレオンを配り始めました。子供達は、嬉しさを包み切れぬといふ風に、時々

「ふよ」

「ほほほッ」

と、笑ひ聲をたてゝゐます。

やつと配つてしまひました。

「さあ！どんな繪を書きませう？」

と申しますと、

「先生！先生！」

と、あちらからも、こちらからも手を舉げます。

「益ちゃんは？」

「あの——汽車ごつこを書きます。」

「孝なかしさんは？」

「僕——先生の汽罐車のね、汽車ごつこ——。」

「寛ちゃんは？」

「あたしね、ぶらんこかきます。」

「稔さんは？」

「僕、入營——。」

「まあ！入營！でも面白いのね。」

「先生！僕とこの兄さん昨日入營したの」

「まあ！それでそれはおめでたう。」

「僕も送りに行つたの、旗たて、ね、兵舎へ人が
澤山々々行つてたよ。」

「それはおにぎやかだつたでせう。稔ちやんのお
兄ちやん兵隊さんになつたのね。えらいわね
え！さあ其時の事をかいたら、きつと面白いの
が出来ませう。今日はブランコ、汽車ごっこ、
それから入營——色々かく事がありますのね、
まだ——他にもありませう。さあ！それでは皆
んなにかいて頂させよう。」

子供達は嬉々としてかき始めました。

「……………」

だまつて、にっこりして、切りに私を手招き
するのは精ちやんです。そばへ寄つて行くと、
自分のかいた繪を指して、

「ハ……………」

と笑ひます。

「おや！どうしたところなの？」

ときますと、

「お母さんね、榮ちやんのおと、のみをしてゐ
の、お骨たつたらいけないでせう？」

こんな説明をしてくれます。それでもどうや
ら丸髷に結つた、お母さんらしい人を書いてゐ
ます。二本のお箸は、かまどの火箸の様に、丈夫
なのにもほゝ笑ませられます。

他の方では、ビーツ、ブーツなどと、一人
ごとを言ひながら、我を忘れて汽車ごっこをか
いてゐる子供もあります。

さうかと思ふと、ひよっこりかく手をやめて
「先生バスの方が背が高いでせう？」

と、尋ねる子があります。それで見に行きます
と、交叉點での交通整理の様子をかこうとして、
自動車をかきかけた子供の質問だつたのです。

こうして、説明をきいたり、相談に預かつたり、さては手のつかぬ子にヒントを與へたりして、時間は知らぬ間に、そして楽しくたつて行きました。子供にとつても、私にとつても何といふ恵まれた時間だつたでせう！

(三)

今日は空には一點の雲もない良い秋日和でした。朝集つた子供達の顔を見るとどの子も、どの子も、晴れ／＼として、生々として、喜びに満ちあふれてゐる様に見えました。私の胸にも何だか嬉しさがいつぱいになつてゐる様でした。

私は思はず知らず、全く瞬間的に、それは丁度小さい時に、突然楽しい事を思ひ出して、急に友達に誘ひかける様に、

「今日は公園へ遊びに行きませう？」

と、子供達に話かけてゐました。

それを聞いた子供達の喜びは大變なものでした。

「うわア」

と、ときの聲をあげると共に、手をたたくやら走り廻はるやら、しばしの間は大騒動でした。それでもお帽子をかむつて、お靴もはいて、お外に出た時には、我先にと整列してくれました。往復途中のお話や、公園で遊ぶ時の心得などもか々やかしいお顔で、如何にも得心がいつたらしく聞いてゐてくれました。

幼稚園の門を出ると『道は左』などと、私のいふ事を先廻りして言つてゐる子供もありました。

愈々公園へつくと、もう

「先生、動物園へ行きませう。」

「先生、お猿が金網ゆするんです。」

などと、あちらから、こちらからと叫びます。

それで子供の希望通り、第一に動物園へ行きま
した。今日は暖かいせいとか、まだ午前だのに相
當人も来てゐます。動物達もやはり氣持ちがよ
いのか、お部屋にちびこもるものは少なく、大
てい外に出てゐました。何と言つてもお猿は一
番愛嬌者です。子供達はたち去らうとも致しま
せん。次に孔雀はあの大きい美事な尾を、力い
つばいにひろげて、何べんも何べんも打ちふる
はして見せて呉れたのも、子供達の大きな喜び
でした。

それから運動場の方に、花園の方にと歩き廻
はつて、とうとうお城の所に出て來ました。

「あゝ！寫生々々」

子供達の口々から叫ばれました。見るとどこ
かの學校の生徒が、先生につれられて來てゐる
のでした。三々五々、思ひ／＼の場所を選んで
今寫生の眞最中です。子供達はと見ると、如何

にも見たさうにしてゐます。『いゝ機會だ。』どう
私も思つたものですから、

「子供達に見せてやつて下さいませんでせう
か？」

と、思ひきつて先生にお願いして見ました。

「さあ、どうぞ」

あつさりとお氣持ちよく承諾してくれました。

それで早速先生を子供達に紹介して

「この方はね、×××學校の×××先生です。さ
あ！先生今日はを致しませう。」

さう言つて挨拶をさせました。それから

「それでは、お兄ちゃんや、お姉ちゃんの寫生を
見せて頂きますせう。お邪魔をしない様に皆んな
良い子になつてね。」

と言つて、分れを致しました。

見る／＼四方に散つて行きました。どうする
かと氣づかつて、しばらくちつと見てゐました

が、學校の大きいお兄ちゃんや、お姉ちゃんに突然こうして接する事でもあり、且つは何でも人のする事は見たいいつばいの人達の事どこか案じる程の事もなくて、だまつて其の後にたつ者、或は脇の方にしやがむ者、それはとりとくながら靜かに見てゐる様です。

しばらくすると、ぼつ／＼お兄ちゃんや、お姉ちゃんとお話をしてゐるのも見つかります。きつとお兄ちゃんやお姉ちゃん達から話かけてくれたのでせう。中には落したゴムを拾つてあげたり、飛びかけた紙を壓へてあげたり、ちよい／＼と御用をさせて貰つてゐる子供もあります。

時計を見ると、お午にもう間もありませぬ。生徒の方々もお歸りにならねばならぬでせう。先生にも生徒の方々にも『左様なら』をして歸園の途につきました。歸る道々、

「隆さん寫生ようする？」

「ようする！」

「正ちゃんは？」

「僕、日曜に兄ちゃんとお寫生に行つたんだよ。」

「僕らも寫生したいなあ！」

などと、あちこち寫生の話で持ちさりの様子です。愈々幼稚園へ着きました。そしてお席へついてから、子供達と私の間に早速今日の公園でのお話が始まりました。其の時誰か今見て來た寫生の話を出すと、元氣なそして繪すきな誠一郎さんは、

「先生、寫生につれて行つて！」

と申しますと、

「先生、僕もよ。」

「先生、あたしもよ。」

などと、可愛い希望が出ます。かへる道々での様子といひ、今私の小さい人達が、どんなに

自分より大きな人達の寫生といふものに、あてがれてゐるかと分ります。

「え、それでは私達も寫生に行きませう。」

と申しますと、手をたゝいて喜びます。

「先生！本當？」

「先生！いつ？」

矢つぎ早に、こんな事をさく子供もあります。

「さあ！お天氣がよかつたら明日でも」

さう答へますと、

「あゝ嬉しいーッ」

と、心から嬉しさうな叫び聲を出します。

「それからね、紙をのせる紐のついた、あの大きな板も、それからお腰掛も、かしてあげます。」

と申しますと、

「やあーッ」

と、もうたまらぬといふ風に皆んなが叫び聲をあげます。

「先生、幼稚園にそんなのあるの？」

「先生、あんな三本の腰掛？」

などと聞く子供もあります。

「ええ、ちやーんと用意をしてゐるのです。」

お腰掛はね、もつと軽しい皆さんが持ちやすいのがあるのです。」

さう申しますと、

「嬉しいなあッ」

と言つて、手をたゝくかと思へば、

「うまい、ぞッ」

などと言つて、皆んなを笑はせる子供もあります。

「さあ！だから明日もお元氣にいらつしやい。」

子供の希望を、こう明日に結んで、今日を終る事に致しました。

子供を門まで送り出して、お部屋に戻つて來ると、さすがに大浪のひいた後の様な静かさを

感じます。しばらくは

「今日は少しお歸りが遅くなつたから、さつさと
お歸りなさい。」

と、お迎へのない子供に注意はしたものの、
家庭では心配をしないだらうか？そんな事を考
へてゐましたが、それがいつしか明日の希望に
もえて、かゞやかしい眼と眼で、むつまじく語
らひながら、道をいそぐ子供の姿と變つてゐま
した。

かと思ふと、迎への人に引きとられて行く子
が、

「先生、きつとね。」

と、言はぬばかりに、自分を眺めかへしてい
つた眼ざしが散らつきます。

今日半日の思ひは、それからそれへと走馬燈
の様にくりひろげられて行きます。まことに美
はしく、本當に楽しく！

ふと氣づくくと、まだお午の食事もしないで、

保育室の一隅に座つてゐる自分でした。

さあ！明日の準備をしなくては——急いで食
事をとりました。

× × × × ×

快晴！

それは今日のためにのみ、作られた文字の様に
さへ思はれます。

人の影うつして見たし秋の空。

と、尋五の弟の得意の句がチラツと、胸をか
すめて通ります。『あつさうだ』——子供達との
約束を思ひ出しますと、もうぢつとして居られ
ません。お辨當と包をひつかゝへると
「何をそんなに、そわ／＼してゐるの？」

といふお母さんの聲も、さつさと後へ聞き流
して、超特急振りで幼稚園へ急ぎました。

「來た／＼。」

「ばんぶーる。」

私が御門の所へ近づくと、子供達はこの有様です。お庭で遊ぶことさへしないで、今日の樂しさの爲めに、私をこゝまで来て待ちかまへてゐたのでせう。

思はず知らずほゝ笑ませられた私は、可愛い一人々々の挨拶に答へると共に、おつむを一々なぐでやりました。

職員室に来て包みをといてゐる間にも、

「先生、いつから行くの？」

「先生、晝板どこにあるの？」

などと、お外から尋ねてゐます。

愈々出發となりました。其時の子供達の喜び！——それはもう昨日にも倍して大きな、いえむしろ烈しいものでありました。

公園へ着きました。

「どこをかきませう？」

と尋ねますと、それは殆ど異口同音と言つてもいゝ位に、

「お城の所です。」

と答へます。それで子供の希望通りにさめて昨日の場所に参りました。そして簡単に危険な所に行かない様にといふ意味の注意を二つ三つして、

「さあ！こゝからどこでもかき。」

と言つて、わかれの禮を致しました。

むかしスバルタの武士が戦の盾をさげた様に、と言へば餘りに仰山過ぎるが、全く子蜘蛛を散らす様に、それでも身大に餘るかと思はれる晝板を引きづつて、思ひ々々場所にわかれて行く姿は、げに可愛くも、勇ましい未來晝壇への小戦士達です。

意味が分つてか分らずにか、只昨日見たまゝに、眼をほそめ、鉛筆を突き出して、向ふをた

める様なしなをする者あり、両手をくんで考へこむ者あり、胸を張り、兩手を膝につつたて、自然を大觀すると言つた風のがあり、早やかいでは消し、消してはかき、ゴムの粉を吹きとばしつゝ、急がしげな手つきの者あり、眼と眼と見交して、包みきれぬと言つた風にほゝ笑み合ふあり、今や戦士の戦、正にたけなはであります。まことに其の姿こそ色々ながら、子供等の得意や思ふべしであります。

子供らは今時を忘れ、年を忘れ——全く學校の子供になりきつてゐるのです。そして天下第一の大傑作を——むしろ神品を——つくるべく、有らん限りの腕をふるつてゐるのです。

そして私は——私も亦何もかも忘れて、只こうして子供と共にある幸福にひたりつゝ、いそ／＼とたち廻つてゐるのです。——それから今日の此の繪は皆んなお部屋にはり出して——

これまでの分も加へて——私の組の展覽會をするつもりです。そして他の組の先生やお子さん方、出来るなら私の組のお母さん方もお招きして見て頂きます。

嗚呼！ 其の時の計畫と考案、それに子供達の喜び、今思つても胸がおどる様です。

以上は私が一人の保母になつたつもりで、其の生活記録的に書いて見たものですが、こうした例をあげますなら、まだ／＼澤山書かねばならぬと思ひますが、今は一まづこれで打ち切ります。

要するに、小學校の圖畫教授などの様に劃然と今からは圖畫教授であるなどといふ態度には出られないので、繪を描かせるといふ事は、全く一つらなりの幼児の生活の中（遊びの中の）一部分、一出來事であると申したのであります。

しかし無論吾々としては、圖畫教育に對する一通りの見識は持つて居なくてはならぬのでありますが、實際的な表はれとしては、右の如くでなければならぬと思ふのであります。（つゞく）

七月の手技材料

目白幼稚園 和田 實

梅雨も晴れて、愈々本格の夏となりました。此暑さには何としても、水いたづらが一番です。盥に水を汲んで庭に持ちだし、色々と實驗させると、よい遊びになります。

コップの水 コップに水を入れ、書學紙を適宜の大きさに切つて、之を蓋にしてコップを倒まにし
て見る。水は完全に、こぼれない。此實驗は子供にも樂々と云來ますから、一人々々に行らせて見ると面白い。次に

ミルク罐 ミルクの明き罐をよく掃除して尤も初めにミルクを出すときに罐の一方の左右に小さい穴を開け（錐で徑一分位の穴）片方の穴から、

ミルクを出して仕舞ひ、其後を熱湯で、充分にゆすいで置く。之を水の中に、手を以て押し込むと二つの穴の一方から水が罐の中に入り、一方の穴から、空氣が小さい泡となつて繼續的に來る。暫く見て居る中に、水が罐に充つると止む。そこで罐を引き出して拇指で一つの穴を塞ぎながら倒さし持つて拇指を上げて塞いで居る穴を開けたりしながら、庭の木、花壇の花、さては鉢のものなどに水をやつて歩く。水が無くなつたら、又水の中に入れて水を入れる。水が充ちたら又そこらに撒いて歩く。拇指一つの加減で水の出を自由に加減する。誠に面白い遊びです。

ゴムまりの水ビストル ゴム毬の空氣の抜けたのを利用して細筆の軸を二寸位に切つて、之をゴム毬の何處か穴の開いたところか、又はわざと穴を造つて差し込み其周圍を少しつまんで軸に細糸か針金で縛り付けて水のもれぬ様にする。斯くして水中に押し込んでから手で握つて毬の中の空氣を抜くと、水は毬のふくらむと共に毬の中に入る。すつかり、ふくらんだところで毬を出して手で握ると水は軸の一端から逆しり出ます。是で水ビストルが出来ました。是は子供自身造る譯には行きませんが、用意して置いて遊びの倦きた頃に出してやると、大悦びです。

ゴム輪動力の船 丸木船の底に推進機のプロペラを取り付けゴム輪を動力として取り付ける。是は飛行器へ取り付けると同様の仕方にする。そこで、プロペラを適宜廻はして、ゴムを好い加減にねぢつて、手を放さずに水に入れ、そこで、手を

放すとゴムの彈力の戻る爲めにプロペラが廻はつて船は前進します。是も子供には出来ませんから豫め用意するか、子供の見て居る所で造つて遣ると宜しい。

笹舟の競争 笹舟を造つて水にうかせる。一どきは大勢では行り悪いから、一度に二三人づゝうかせて、各幼兒に團扇を持たせて、各々、自分の舟をあふがせる。早く池の彼岸に達したのを勝とする。二三人づゝ交互に行りながら見物する。面白く遊びます。笹舟の代りに板を舟の形に切り小さい帆を上げたのを使ふことが出来れば一層面白く遊べます。尙帆の色か舟の色を三色位に別に別けて置くと遊ぶに都合宜しい。

噴水の實驗 バインアップルの明き罐を利用して其底に細ゴム管を通す。其仕方はゴム管の一端に筆の軸の一寸ばかりに切つたのを差し込み、之を其まゝ罐の底の穴に差す。そして、ゴム管の一

端には、更に細い筆軸の二寸位にしたのを差して噴水口を造る。斯様に用意が出来たら、之を一人の子供の両手に持たせる。片方の手に鑷を持つたら片方の手には噴水口を持たせる。そこで、始めは左右の手を水平の位置に捧げさせて、鑷の中には水を入れる。水が一杯になつたところで、徐々に一方の噴水口を上に向けたまゝ少し下に下げると同時に片方の鑷の方を上上げる。そこで、水は噴水口から勢よく出る。暫く眺めてから、左右の手を同じ高さにするに連れて噴水は止む。左右の手の高さを違へて、前の様にすると噴水する。色々と實驗する中に噴水口が水源より低い時にのみ噴水することがわかる。交り々に持たせては水を入れて遣る。

虹吹き 霧吹きに水を充たして用意し、子供は太陽を背にして立たせ、其面前に霧を吹く（少し高く）、スルト、美しい虹が現はれます。子供にも

能く見える。何度も々々もして見せる。大きい子供には實驗させて見ても宜しい。

下りよ上れよ 浮沈子の事です。硝子の圓筒があれば申分ありません、無れば一升瓶びんの明いたのでも宜しい。先づ、水を一杯に入れて、浮沈子うしんしを浮かせ、ゴムのシオートで口を蓋ひ、周りを細紐で密封する。子供の力でも、樂々と浮沈子うしんしを下させることが出来ます。浮沈子は色々ある方が面白いですから、豫め工夫して四つ五つ造つて置くことが必要です。小さな硝子鑷びんを倒さにしても其中へ入れ残す空氣の量さへ、適當に加減すれば、即座に浮沈子になれます。ピンポンの玉の割れたのを利用して、小さい人形を吊して、落下傘の人形を造つても面白い。又、玉子の一方に小さい穴を開けて中身を出して、此殻を利用して面白い。何にしても浮沈子の重さは、やつと、浮いて居る程度にしないと、子供の手の力で、浮沈さ

せることが困難になりますから、此邊の加減が厄介ですが、是さへ出来れば、後は何でもありません。

以上の外、サイホン式の「水出し」の色々な實驗のことは前々號に書きましたから、茲には略します。時には疊一帖敷位の廣さの水槽か、小さい池に、和金（金魚で鯛の形のもの）を數十疋放して、之を小さい網で、子供にすくはせる。すくつたものには金魚をあげると云へば、子供は夢中になつて、金魚を追ひ廻はします。結局は別に用意したブッキリ罐などに一疋づゝ入れて子供の家土産いへつぽとするのですが、始めから之をあかさないうで、子供にすくはせると、暫くは、夢中になつて遊びます。小さい子供などには、盥の中に土鱒を數疋放して、手で追ひ廻はさせても宜しいです。尤も、之はあまり永くして居ると土鱒が參りますから、好い加減の所で止めさせないと、残酷な遊びにな

ります。水いたづらは此位にして置いて、何か製作方面を少し考へることにしませう。

懷中時計 圖畫紙へ圓形を畫いて渡し、之を適宜指導して時計の時刻表に作り上げる。次に、細長い圖畫紙に針の圖を黒く描いて置いたのを渡し、切り抜かせ、序に時計も切り抜かせ、時計の中心に針を二枚重ねて止める。止める方法は、紙でも、糸でも宜しい。之に、龍頭の處に紐を付けさせて出來上る。出來上つたら適當な時刻に針を動かして遊んだり、胸に掛けて家へ歸らす。二時になつたから「お歸りだ」などと云つて遊ぶ。

日和傘 圖畫紙の中央に徑四寸位の圓を描いて渡し、之を傘にする積りでも何でも書かす。出來たら切り抜かせ、一ヶ所、圓の中心まで切れ目を入れて、此切れ目を三分程重ね合はせて糊付ける。と傘の形（即ち漏斗形）になります。次に、傘の中央の處に穴を開けてやつて、之にマッチの一本

を通す。薬の付いた方を上にして、是で傘が出来上りました。可愛らしい日和傘です。

海軍大將の帽子 新聞紙で大きな三角形の袋を作らず。子供の頭に充分、かぶれる様に、そして之を三枚位重ねて、ふちのところへ糊付して三枚を一つにしてかぶれる様にする。次に其ふちのところへ、巾一寸位の色紙を貼る。組織を二三枚並べて貼つても宜しい。次に、三角の山に沿ふて飾り毛の代りに紙を細くしたものを貼る。菓子の中に詰まつて居る、彼の細い紙を丹念に貼り付けるのも好いと思ひます。次に、兩側には打ち抜き貼紙材料を(花の類が適當)子供の自由に貼らす。之で出来上りです。子供は悦んで被つて遊びます。

勳章 金鷄勳章を輪廓とつて渡し、手木に做つて塗らせる。次に切り抜かせる。安全ピンで胸に付けさす。同じ様に他の勳章をも二つ三つ造へて一所に胸に掛けさす。多くする程、悦ぶ。

かんかん帽 麥藁帽子のことです。先づ、三つの部分を適當にはかつて切り抜き置き、子供には

唯、貼り上げるだけを行らせる。子供の被ぶれる位の大きさにして、黒い紙を二寸位巾にしたのをリボンとして貼り付ける。之で出来上りです。材料は畫學紙が適當です。此貼り方は後に立體的の紙細工をする時の豫備練習として適當ですから、其積りで行らせる。

氷水屋遊び コップに氷を盛つた繪や、皿にアイスクリームを盛つた繪、コップにサイダーの入つた繪等數々と色々な繪を造へて置き(勿論、輪廓だけ)子供に塗らせて、切り抜かせる。別に五錢と十錢の白銅貨を切り抜かせて用意が出来る。子供を氷屋とお客さんとに分けて氷屋遊びをします。好い時分に交代して遊ばせる。

郵便局遊び 前と同様に、はかき、切手、金、等色々用意するものを子供に造らせる。出来上つた所で、郵便局員と客とを別けて遊ばせ、又交代して遊ばす。之は常識養成にもなるのですから、成る可く實際的にする様に、併し子供の興味の乗る様に指導して遣る。勿論、配達まで行らせるのが宜しい。子供は悦んで遊びます。



七月の園藝

大 岩 金

鬱陶しいとはいひながらも晴間をみては蟲退治、挿木、植替、除草など前月半ばからこの初旬まではなかなか多忙でありましたがその梅雨も晴れますれば後はすつきり夏の気分になつてしまひます。

先づ観賞の方面から申しますれば朝に開く朝顔を始り晝間のるこうさう、まつばぼたん、睡蓮、夕方の月見草、夕顔、おしろい花など、又日を遂つ

てまはるひまはり、その外丸い葉に銀滴をとどめる金蓮花、或はさんぎよさう、むぎわらぎく、シヤスターデージー、えぞぎく、くじやくさう、萬壽菊、昇り藤、ランタナ、ダリア、緑こい茂の下の山百合、谷間の姫百合、車百合など見るからに氣高く感ぜられるものやさしく愛らしいもの、又早咲のさきやうなども皆本月が見頃であります。

實生にしたアスパラガスも大分芽が伸びました。箱播のものは小鉢にとつて觀賞かたはらこの上の生育を計りませう。夏の眺は花物以上に葉物や水草の方が冷味を覺えてゆかしいものであります。葉物としてはこの外にありづるらん、匍枝の長く垂れた状、裏葉の色變りしたかもめらん、すつと伸びて先に葉を群がらせたシペラス、色様々のベゴニア、盆養の絹糸草など種々あります。

繁殖

秋の花壇を賑はす爲のコリウス、アルタナンセラは地に下して充分に株がはり枝が茂つて參りましたならばその芽をつんで挿木します。その外ベゴニアの葉挿、ゼラニウム露地挿などとしてよいのであります。

又縁取用の白丁花も伸びるにつれて刈り取つてはその先をあまり強い日の照らない所に挿しておきます。

草莓は繁殖させ又は更新の必要がありませんならばこの切親臺に近い方から第二節か第三節位までの匍匐枝をとり一節づゝに切りはなして秋まで苗床に植えておきます。

その他の管理

花卉にありましては、ダリヤの側芽つみ、花の間引ボン／＼咲などの小花をつけるものには必要ありませんがペオニー、デコラティブ、カクタス咲等の大輪物にありましては一花軸に三固も着花のまゝにしておきましてはその中の一又は二花は花梗も短かく花も小さくなりますから最も美しいもの一固を残して摘花するのであります。かくして中旬頃までに一きり咲かせましたならば下旬になりまして少々位花が咲いておりまして一度下から數節をいいて軸を切り取り來る秋の準備をするのであります。

サルビヤ、コスモス等にありましては前月に引

續き今尙數回四五節伸びた側芽は二芽位づつちいて摘心し花壇や鉢作りなどにちきましてはあまり丈をのびささないで株をはらせた方が支柱の心配がなくてよいと思ひます。

春咲の球根類で掘りあげてないものは掘りあげなければなりません。

又外にありました雪割草や福壽草は今月から十月始め頃まではあまり日光の強くない半日蔭の所にまはしてやります。

その他は灌水に怠りのないやう、朝顔や菊にはわけて暑い中にも一週一回位づゝは施肥をしてほしいものです。まだくゝ畑には色々してほしい仕事があります。暑さの折からあまりくどく申さない事に致しませう。

收穫

暑い中にも收穫と申せば楽しみがそつて参ります。わけても赤々と房をなし水氣たつぶりのト

マトを想像しては夕方もまたれないで先づこの暑い間にと足がむいて参ります。

その序にはしその少し、二十日大根などもとつて來る氣になります。

その外つるな、ふだんさう、ビートなども收穫時になりました。

草花類にありましては色々の種子をとらなければなりません。夫々適期がありますが曾て申して居りますからこゝに省略しまして只適期を失しない事を御注意申してちきます。

木物の種子としてえにしだの實が黒くなりました。是は草花類の如く播種して翌年すぐには開花する迄にはゆきませんが早いのは三年目位になりますと餘程大きくなり花も着くやうになります。自分で實生から育てた木物の次第くゝに大きくありますのは草花の培養より以上に楽しみな所があります。

雜 錄

(注意)

○文部省主催

幼稚園保母ノ講習

一、東京女子高等師範學校ニ於ケルモノ

期間 七月二十二日ヨリ七月二十七日迄

定員 約百五十名

講習員資格 幼稚園長保母及保育事業關係者

講師ト講習題目

一、幼兒性情ノ涵養(八時間)

東京女子高等師範學校教授 倉 橋 惣 三

一、幼稚園ト小學校トノ聯絡ニ

關スル問題(四時間)

同 堀 七 藏

一、幼稚園ニ於ケル製作(實習)(十時間)

東京女子高等師範學校保母 及 川 ふ み

一、各員凡八拾錢ヲ要ス、缺・物指・クレオ

シヲ持參スヘシ

二、女子講習員ニシテ本校寄宿舎ニ寄宿ヲ希

望スル者ハ必ス七月十五日迄ニ東京市小石

川區大塚町三十五番地東京女子高等師範學

校寄宿舎宛ニ申出ツヘシ、但食事 晝食ヲ

除ク)其ノ他ノ舍費ヲ併セ一日ニ付金一圓

二十錢ノ割ヲ以テ前納スルコト

一、奈良女子高等師範學校ニ於ケルモノ

期間 八月一日ヨリ八月八日迄

定員 約五十名

講習員資格 幼稚園保母

講師ト講習題目

一、兒童心理(六時間)

奈良女子高等師範學校教授 本 庄 精 次

一、保育理論(六時間)

同 森川正雄

一、圖畫（十時間）

同 田賀谷健吉

一、園藝（十時間）

同 福井稔

一、實地保育（六時間）

奈良女子高等師範學校保母兼教諭 會澤タカエ

（注意）

一、講習員ハ實習費トシテ一人ニ付約金二圓

ヲ要ス

二、講習員ニシテ當校寄宿寮ニ寄宿ヲ希望ス

ル者ハ七月二十五日マデニ當校教務課ニ直

接申出ヅベシ但シ費用ハ舍費食費ヲ併セ一

日金一圓ノ見込、尙當地旅館又ハ下宿ニ宿

泊セントスルモノハ宿泊料旅館一圓五十錢

位、下宿一圓位

一、取扱上の注意

一、受講希望者ハ前各項熟覽ノ上學科目、會場、職、氏名ヲ具シ地方長官ニ申出ヅベシ

一、講習員ハ管内相當學校教員中ヨリ地方長官之ヲ選定ス

一、地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ講習員ヲ受クベキ學科目及其ノ職氏名ヲ記載シタル選定書ヲ七月十五日マデニ夫々當該開設學校長ニ差出シ講習員ヲ開講當日マデニ講習會場ニ出頭セシムベシ

一、地方長官ハ前表記載ノ資格ヲ有セサル者ト雖特ニ受講ヲ希望スル者ハ定員外講習員トシテ選定スルコトヲ得

一、開設地方ニ於ケル受講希望者ニ對シテハ特ニ前表ノ定員ヲ超エテ許可スルコトアルベシ

一、地方長官ノ選定シタル講習員定員ヲ超過シテ講習上支障ヲ來ス虞アル場合ハ其ノ一部ヲ削除スルコトアルベシ

一、開設學校ニ於テ定員外ノ講習員ノ受講ヲ許可

シ若ハ其ノ選定員中ヨリ其ノ一部ヲ削除シタル

トキハ開設學校ヨリ其ノ旨地方長官ニ通知ス

定員外講習員ハ許可ヲ受ケタルモノニ限り、其

ノ他ノ者ハ削除ノ通知ナキ限り受講シ得ルモノ

ト心得ベシ

一、講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了

證書ヲ授與ス

一、講習ニ要スル實驗實習費、印刷費其ノ他雜費

ハ當該學科目ハ講習員ノ負擔トス

——七月二十二日の官報拔萃——

○全國佛教保育大會

佛教保育協會の主催にて左記の通り開催される。

一、期 日 昭和六年七月二十六日、二十七

日ノ二日間

一、會 場

東京市神田區一ツ橋通町 帝國教育會館

一、行 事 一、議 事

二、研究發表

三、功績者表彰（滿二十年以上

佛教關係保育事業従事者）

四、講 演

五、談 話 題

一、問 題

本協會提出議題の外に一般の協

議題、研究題、談話題等の提出

は六月末日限り但、説明を要す

るものは簡明に附記のこと

問題の選定は主催者に一任され

たきこと

採否決定は七月十日までに通知

一、出席者資格

佛教主義幼稚園、託兒所の設立

者、職員、保母、及これに關係

ある一般篤志家、にして本會に

於て適當と認めたる者

七月二十日まで

一、申込期日
一、會費

金參圓也(但講習會費も含む)

但大會のみに參會する者は金

一、申込所

東京市淺草區松清町 徳風幼稚園内

電話淺草(84)六〇一六番

(詳細は同事務所へ)

一圓也

倉橋主幹、今年夏季休暇中の講習日程は左の通りです。各地方會員諸君の爲、お知らせ致します。

七月二十二日より二十七日まで

同 二十八日 東京市 文部省保育講習會
同 三十日 東京市 佛教保育會講習會

同 八月一日 仙臺市 文部省講習
同 山形市 同上

同 二日 福島市 同上

同 四日

同 六日より八日まで

同 十日より十二日まで

同 十四日より十六日まで

同 十八日より二十日まで

同 廿二日より廿四日まで

同 廿五日

同 二十六日、七日

同 二十九日、三十日

九月上旬(豫定)

東京市 昭和保姆養成所講習

長崎市 長崎保育會講習

鹿児島市 鹿児島保育會講習

吳市 廣島縣講習

福山市 同上

山口市 山口縣講習

津市 三重縣講習

豊橋市 豊橋市聯合講習

浦和市 埼玉縣教育會講習

大阪市 大阪府南區保育會講習

定 規 文 注 告 票

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論文調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に
本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内**
- 日本幼稚園協會**
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵券代用の場合には總て一割増）
 - 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓
 一等面一頁 金貳拾五圓
 一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい。

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製
 禁 轉 載

編輯兼發行所 倉 橋 惣 三
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 印刷者 須 藤 紋 一
 東京市麹町區飯田町二丁目五十番地
 印刷所 京華社印刷所

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和六年七月十日印刷納本
 昭和六年七月十五日發行
 幼兒の教育 第三十一卷第七號

第二回全國保姆夏期大講習會

一、期日 昭和六年八月四日より七日迄(四日間) 午前八時

より午後四時半迄(毎日八時間)

午前の部

一、保姆必須の幼兒の心理的新研究

廣島文理科大學教授文學博士 久保良 英

二、保育について

奈良女高師附屬幼稚園主事 森川正雄

三、幼兒の衛生的新研究

文學博士 三田谷啓

四、幼兒の唱歌について

東京高師附屬小學校教員 青柳善吾

五、うたひ方の新しい研究

新歸朝 聲學家 松山芳野里

六、童話について

童話家 松見佐雄

七、歐米の新しい保育について

京都市常盤幼稚園長 橋川正

午後の部

八、幼兒に適切なる遊技會運動會用の

唱歌遊技と體育ダンス二十有餘種

大阪市金蘭會女學校教員 久保富次郎

氏は歐山をこへ、米水を渡りて昨夏歸朝し、その研究ますく、圓熟し最も自然に體育的で教育的な我國民性に親狎した遊戯を發表する。

九、幼兒に適用すべき正科用の新舞踊

十有餘種發表 東京高田舞踊研究所 戸谷俊子

戸谷嬢はダンスをよくするのみならず、古典舞踊をもよくし若柳流をくみ、殊に、新舞踊は最も特慧として他の追従を許さずの定評ある新人。やさしい幼兒のおどりを發表せらる。

一、會場と申込と會費

於大坂市大手前高等女學校 (市電、大阪城前下車)

午前の部は金貳圓半、午後の部金貳圓半、兼修金四圓也。申込は昭和六年七月末日迄に會費をそへ大阪市西淀川區野里町大日本新遊技研究會に書留か振替口座大阪七、一四六番に拂込むこと。

一、特典

一、宿泊(二食附) 金八十錢にて久保舞踊研究所を開放して御世話す。

二、例年の通り演藝館、大商店よりの寄贈品多々。

大阪市西淀川區野里町

主催 大日本新遊技研究會

振替口座七一四六番

久保富次郎著書	歐米の體育と幼稚園	一圓半	以上の本は當會にて御取次をなす
久保富次郎著書	最も新しいダンスと唱歌遊技	一圓半	
久保富次郎著書	幼兒のおどり	六錢	
久保富次郎著書	唱歌遊技十三講	六錢	
久保富次郎著書	唱歌遊技と新舞踊	一圓半	
久保富次郎著書	體育ダンス	六十錢	

帝國美術院會員
東京美術學校教授

岡田三郎助先生・丹羽禮介先生著

版五

學校家庭

應用圖案集

菊判全一冊
石版十度刷
作圖千有餘
價參圓八拾錢
送料拾八錢

正則に圖案の作法を體得し題材とした作圖數百應用自在

先づ平面、立體、連續、對比、明暗、調和、象徵、色彩、以下十數項目を設けて正式に圖案作法の大意を説き、實例として題材を人物、樹花、鳥獸、蟲魚、器物、他凡百の自然界に取り構圖作法としては古代埃及、亞刺比亞、波斯、サラセンよりルネッサンス式ルイ式より近代のセセッション、構成派等竝純日本式迄多種多様に互れるを以て、隨つて其應用の範圍も頗る廣汎にてポスター、表紙、裝釘、染物、編物等行く所として可ならざるなし、本書一本に據りて克く圖案の作意を會得し、且つ製作家たり得、教育家竝一般興味家に絶好の參考書と信ず、(本書は曩に學校家庭教育圖案畫集と其描方として好評を博せしが其内容はより以上廣汎なるを以て題目を改めて薦む)

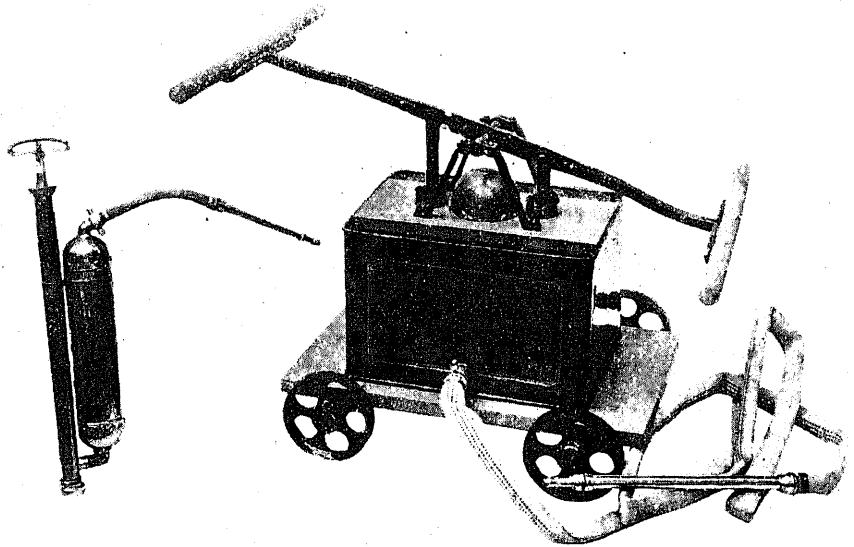
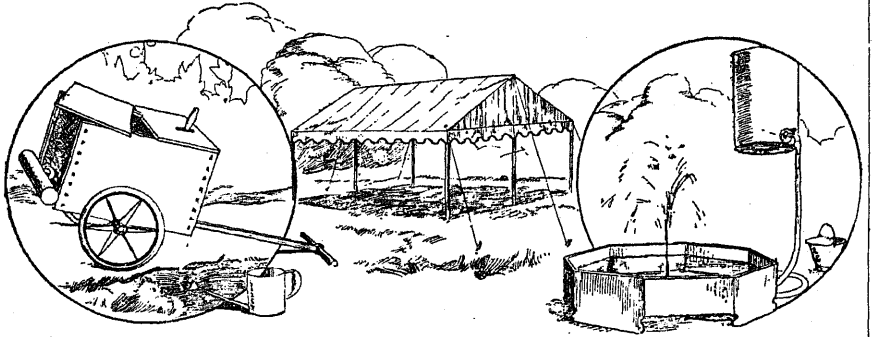
帝國美術院會員
東京美術學校教授

岡田三郎助 丹羽禮介 共著

新刊 三版 六版 新刊

<p>學校家庭教育圖案畫描き方</p> <p>菊判全一冊洋綴實物寫真と寫生畫と略畫の三様の比較を如實に示す等、用意周到、懇切丁寧を極めた教育指導書であります</p> <p>送料十八錢</p>	<p>學校應用略畫集と其の描き方</p> <p>菊判全一冊洋綴作畫の第一階梯として、圓型、二、三角型、送料十八錢單に描かるゝか兒童に會得せしめるに努む</p>	<p>學校クレヨン畫集と其の描き方</p> <p>菊判全一冊洋綴一本の線より順序を經て畫に成る迄即ち素描の過程を懇切丁寧に實例に於て説明し、送料十八錢</p>	<p>學校萬有圖畫全集と其の描き方</p> <p>菊判全一冊洋綴本畫各學年の全科に互り、送料二十七錢</p>
---	---	---	--

發行所 東京市牛込區 中野文庫館書店 振替電話 東京三三三 四三三 二五七 七五



眞夏は ぜひ

涼しい水遊び用品で

園児や御愛児がたの、僅少の經費で、涼しい御遊び用品に、次の品々に御決定遊ばしませ。

ポンプ——全部金屬製、ゴム・ホース付、水の放射距離眞上へ約十間、消防用を小型にした精巧な構造。……

龍吐水——最も新しい而も堅牢無比の構造、遠方迄素晴しい勢ひで水を放射致します。全部金屬製要所砲金使用。……

木製 一本定價 金三圓

噴水——水槽、ゴム水管、噴水孔付水盤のひとつ揃ひ。……

一揃定價 金八圓

撒水車——水遊びを好むお子様方には是非一変、いろ／＼に御重寶。……

一臺定價 金十二圓

テント——園外保育、砂場その他いろ／＼の場合に利用出来ます、程よい大きさ。間口六米・奥行六・四五米。……

一組定價 金百圓

東京・神田・一ツ橋通・教育會館内
株式會社 フレーベル館

(御註文用)

電話九段(33)三八二七番
振替東京一九六四〇番

定價 三十五錢

昭和四年六月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回 十五日發行)

昭和六年七月十日印刷納本
昭和六年七月十五日發行